

令和2年度  
事業報告書

社会福祉法人松阪市社会福祉協議会

P 1	第1章 総括
P 2	第2章 法人運営部門
	1 概説
	2 事業シート
	(1) 法人の運営
	(2) 人材育成
	(3) 福祉関係施設の運営管理
	①指定管理施設の適正な運営及び利用の促進
	②社協施設の適正な運営及び利用の促進
P 10	第3章 福祉のまちづくり部門
	1 概説
	2 事業シート
	(1) 地域福祉活動計画事業の推進
	(2) 赤い羽根共同募金運動事業・助成事業の推進
	(3) 社会福祉大会事業
	(4) 総合相談事業
	(5) 資金の貸付事業
	(6) 受託運営事業
	(7) ボランティアセンター事業
	(8) 日常生活自立支援事業
	(9) 地域後見サポート事業
	(10) 生活困窮者自立支援事業
P 33	第4章 在宅福祉サービス部門
	1 概説
	2 事業シート
	(1) 在宅福祉サービス事業
	(2) 人材育成事業
	(3) 高齢者福祉サービス
	(4) 障がい者福祉サービス
	(5) その他の福祉サービス
P 51	第5章 資料
	1 法人運営部門
	2 福祉のまちづくり部門
	3 在宅福祉サービス部門

## 第1章 総括

少子・高齢化を背景に、あらゆる世代の暮らしに関する困りごとが多様化・複雑化するなか、当社協では、地域における生活課題の変化を的確に捉えながら、地域に根ざした活動に取り組んでまいりました。

しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため地域福祉活動でも計画していた事業が変更や中止を余儀なくされ、また福祉サービスで運営を休止せざるを得ない事業所もあるなど、運営に多くの影響がありました。

当社協では、感染症対策マニュアルを策定し、市民の安全・安心を第一に感染防止対策の徹底を図りながら介護・障がい福祉サービスの提供や困窮した方への相談支援などを行うと共に、地域住民の参画と協働による「地域共生社会」の実現に向けた諸事業に取り組みました。なかでも、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減などに伴う貸付相談、生活相談支援センターでの住居確保給付金の相談などについて、毎日途切れなく相談に来られる状況にあり、担当部署を中心に、社協職員一丸となって取組みました。

一方で法人運営機能を維持するため、感染防止対策として事務所機能を分散したサテライトオフィスやテレワークによる在宅勤務、Web形式の会議などを実施しました。

このようななか令和2年度は、第3期松阪市地域福祉(活動)計画の中間年度(3年目)かつ、第IV期経営計画の初年度でもあり、計画における目標達成に向け具体的な活動に取り組みながら、計画の実効性を高めるために進捗管理を行い、PDCAサイクルの構築を図りました。

## 第2章 法人運営部門

### 1 概説

第IV期経営計画の初年度として、8つの実施項目のうち、法人運営部門は、財源の確保、経営環境の維持、人材育成、働きやすい職場の環境づくりに取り組みました。

財源の確保については、松阪市と補助金・委託金についての協議を行ってきました。地域福祉事業を継続していくうえでコミュニティソーシャルワーカー(※1)の必要性和、委託事業内容と人件費の妥当性について、また令和3年度から新しく配置される相談支援包括化推進員(※2)の位置づけ、役割について協議しました。松阪市としてもコロナ禍で大きく減収が見込まれるなか、補助金総額は前年度と同額となりました。

経営環境の維持というところでは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大きな影響を受けました。年度当初は緊急事態宣言の発令に伴い、貸館や事業を一部休止することとなりましたが、感染防止対策を講じながら事業を再開、継続しました。利用者の安全、職員の感染防止の観点からインターネット環境を整備し、Web形式の会議、サテライトオフィスやテレワークを実施しました。

人材育成、内部研修を見直し、新規採用職員に対して年度当初の研修会と年度末の振り返り報告会を実施し、階層別研修として三重県社会福祉協議会が実施するキャリアパス対応生涯研修課程に参加しました。

働きやすい職場環境づくりについては、同一労働同一賃金に基づき契約職員、非常勤職員の処遇改善を図り、働き方改革に対応した就業規則などの改正を行いました。また、予算編成にあたっては、在宅福祉サービス課と連携し、補助シートを作成し業務の効率化を図りました。

施設マネジメントでは、グループホームいたかの指定管理期間が令和3年度で終了となることから、今までの経過、現状の職員体制、今後の見通しや施設の修繕を含む長期的な収支バランスなどを基に協議を重ねてきました。

2 事業シート

(1) 法人の運営

(単位：円)

事業名	法人運営事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 1-1
担当部署	総務課 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高各支所	事業費実績 338,632,285 (前年度比) 102%
【成果】	<p>①法人の重要な機関として、理事会、評議員会などの運営をはじめ、各部門や担当の会議から幹部会、経営会議へと提案・検討できるよう法人の運営をすることができた。</p> <p>②法令や規程などの改正を行い法令遵守に努めた。</p> <p>③人材確保のための新しい連携先を開拓した。(県内大学など)</p> <p>④意見交換会を実施し、職員の意見や考えを令和3年度予算に反映した。(事業所利用定員の変更、施設診断費用、法務相談費用の計上など)</p>	【財源内訳】
【課題】	<p>①理事会などの役員会において、事業経営や地域福祉などについて検討できる資料を再考する必要がある。</p> <p>②意見交換会より得られた意見を、引き続き法人運営へ取り入れていくことが必要である。</p> <p>③人材確保に向けた実習受入れ体制の整備</p> <p>④業務の効率化とコスト削減</p> <p>⑤要員計画に基づいた人材の確保</p> <p>⑥施設診断に基づく計画修繕を見込んだ資金計画の見直し</p>	<p>会費 9,494,640</p> <p>寄附金 2,002,815</p> <p>補助金(松阪市) 175,886,000</p> <p>受託金(県社協) 2,935,600</p> <p>事業収入 237,850</p> <p>負担金(協会事務) 350,000</p> <p>受取利息配当金 8,892,083</p> <p>雑収入 402,010</p> <p>退職基金差益 4,635,318</p> <p>助成金 1,607,373</p> <p>退職金取崩 29,702,970</p> <p>繰入金(退職金掛金) 32,470,234</p> <p>繰入金(自主財源) 70,015,392</p>
【次年度への改善】		
<p>①法人全体の危機管理体制(新型コロナウイルス感染防止を含む)の整備(BCP(※3)の策定)</p> <p>②嬉野ゆうゆうを含む指定管理施設の経営と事業継続について、法人として方向性を示していく。</p> <p>③人事考課制度について、継続した研修の実施とアンケートに基づいた改善点の洗い出しと見直し</p>		

◆活動実績(取り組み)

- ①役員会などの開催 ※開催内容の詳細 P51
- ・評議員会 3回
  - ・評議員選任・解任委員会1回
  - ・理事会 6回
  - ・監査会 2回
- ②安定した経営の実現
- ・自主財源の確保 社協会費：9,494,640円(前年度比1.1%の減)
  - ・内部監査 2回
  - ・法人指導監査 令和3年1月22日
- ③衛生管理
- ・衛生委員会 毎月1回

事業名	職員研修事業（本所）	事業シートNo 1 - 2	
担当部署	総務課	事業費実績 (前年度比)	1,848,380 70%
<b>【成果】</b> ①令和2年度採用職員に対し、事業に携わる中で1年間を振り返り発表する機会として研修会を年度末に行った。 ②人事考課に関して、考課者に対して研修を行い、考課基準の見直しや内容について修正を行った。 ③社会福祉士実習について、今年度は初めて実習指導者が集まりWeb形式の講義を行った。 ④外部で主催される研修会については開催中止やWeb形式での開催となった。プロジェクターや集音マイクなどの環境整備を行い、Web形式の会議や研修などに対応できるようにした。 ⑤ハラスメント対策が義務化されたことにより研修会を開催した。		<b>【財源内訳】</b> 繰入金(自主財源) 1,848,380	
<b>【課題】</b> ①ハラスメント対策について職員の理解がより深まるようなアプローチが必要 ②災害及び感染症に係る事業継続計画の具体的内容の共有、平常時及び緊急時の対応について理解が必要 ③社会福祉士の実習受入れについて、例年であれば地域での行事や会議への参加ができていたが、今年度は行事の開催中止や実習時間の縮小などから学ぶ機会の確保が難しかった。			
<b>【次年度への改善】</b> ①役員新体制のもと、職員意見交換会を継続して実施する。 ②ハラスメント対策についての研修会を行う。 ③事業継続計画を見据えた災害時(感染症対策含む)などについて研修会を行う。 ④令和3年度も社会福祉士の実習受入れを2名予定している。コロナ禍においても社協内での社会福祉士の業務を十分に学べるように、実習内容やWeb形式の講義内容など実習指導者と協議していく。			

## ◆活動実績(取り組み)

## ①集合研修

・新規採用職員研修                      ・第IV期経営計画説明会                      ・交通安全講習 など計9回

## ②派遣研修(Web形式の開催含む)

・キャリアパス対応生涯研修                      ・地域福祉コーディネーターリーダー研修会 など計5回

①指定管理施設の適正な運営及び利用の促進 (単位：円)

事業名	ハートフルみくも 保健福祉センター事業 (三雲)	事業シートNo 1 - 3	
担当部署	三雲支所地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	19,285,558 101%
<p><b>【成果】</b></p> <p>①行政と連携して、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応管理に取り組んだ。</p> <p>②地域住民と協働し、地域の風景やイベントなど毎月テーマを変えながら館内ホールにて写真を展示した。</p> <p>③施設設備について、都度、行政と打ち合わせなど連携しながら不具合箇所の修繕を実施した。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①感染拡大防止のための管理を継続して実施していく。</p> <p>②地域福祉の拠点として、住民の方々の癒しの場を継続して提供する。</p> <p>③施設設備において、12条点検の結果を含めた不具合箇所の修繕に関し引き続き行政との協議を行っていく。</p>		<p><b>【財源内訳】</b></p> <p>受託金(松阪市) 19,238,076</p> <p>雑収入 47,482</p>	
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①新たな事業(三雲カフェ他)実施を通じ、地域における住民交流の場・癒しの場をコロナ禍でもあり、慎重に創出していく。</p> <p>②施設設備について、雨漏りや12条点検の結果も含めた不具合箇所など修繕の必要な箇所が増えてきているため、松阪市と協議し計画的に対策を進めていく。</p> <p>③地域資源(人材)を活用した利用者・職員への啓発活動(減災講習会)や津波避難訓練などを実施、危機管理活動に取り組んでいく。</p> <p>④施設マネジメントとして、施設経営と実施事業などについて課題整理を行っていく。</p>			

◆活動実績(取り組み)

自主事業(写真展) 12回(通年)

(単位：円)

事業名	ハートフルみくも スポーツ文化センター事業（三雲）	事業シートNo 1-4
担当部署	三雲支所地域福祉係	事業費実績 27,059,183 (前年度比) 100%
【成果】	①行政と連携して、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応管理に取り組んだ。 ②施設設備について、都度、行政と打ち合わせなど連携しながら不具合箇所の修繕を実施した。	【財源内訳】 受託金(松阪市) 23,942,889 利用料 3,008,610 受取利息配当金収入 12 雑収入 15,410 自動販売機手数料収入 92,262
【課題】	①感染拡大防止のための管理を継続して実施していく。 ②地域のスポーツやレクリエーション活動の拠点として児童から高齢者までの幅広い世代に交流の場を提供していく。 ③施設設備について、12条点検の結果も含めた不具合箇所の修繕について引き続き行政との協議を行っていく。	
【次年度への改善】	①自主事業を通じた住民交流の場を、コロナ禍でもあり、慎重に創出していく。 ②施設設備について、雨漏りや12条点検の結果も含めた不具合箇所など修繕の必要な箇所が増えているため、松阪市と協議し計画的に対策を進めていく。 ③地域資源(人材)を活用した利用者・職員への啓発活動(減災講習会)や津波避難訓練などを実施し、危機管理活動に取り組んでいく。 ④施設マネジメントとして、施設経営と実施事業などについて課題整理を行っていく。	

(単位：円)

事業名	飯南ふれあいセンター事業（飯南）	事業シートNo 1-5
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業費実績 10,857,020 (前年度比) 101%
【成果】	施設事務所の照明器具をLED化したことで電気代を低く抑え、消耗品など各支出の節約に取り組むことで、赤字運営(自主財源の繰入)を解消することができた。また、コロナ禍においても感染防止策を行いながら貸館業務の継続が出来た。	【財源内訳】 受託金(松阪市) 10,855,370 利用料 1,650
【課題】	①感染拡大防止のための管理を継続して実施していく。 ②施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えていることから、引き続き行政との協議を行っていく。 ③次回更新に向け課題整理を行っていく必要がある。	



【次年度への改善】

- ①施設運営も含めた組織としての危機管理体制を整備していく。
- ②施設設備について、修繕箇所含め松阪市と協議し、計画的に対策を進めていく。
- ③施設マネジメントとして、施設経営と実施事業などについて課題整理を行っていく。

◆活動実績(取り組み)

自主事業 2回 参加者延べ人数 174名

※飯南高齢者生活福祉センターと共通

(単位：円)

事業名	飯南高齢者生活福祉センター事業（飯南）	事業シートNo 1－6	
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	13,774,847 96%
<p>【成果】</p> <p>光熱水費や消耗品など各支出の節約に取り組むことで、赤字運営を改善することができた。また、コロナ禍において感染防止対策を継続して運営ができた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設管理運営における感染症対策を行いながら貸館業務及び入居者への対応を引き続き継続していく必要がある。</li> <li>②施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えてきている。</li> <li>③次回更新に向け課題整理を行っていく必要がある。</li> </ul>		<p>【財源内訳】</p> <p>受託金(松阪市) 13,148,055</p> <p>利用料 626,792</p>	
<p>【次年度への改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設運営も含めた組織としての危機管理体制を整備していく。</li> <li>②施設設備について、修繕箇所含め松阪市と協議し、計画的に対策を進めていく。</li> <li>③施設マネジメントとして、施設経営と実施事業などについて課題整理を行っていく。</li> </ul>			

(単位：円)

事業名	飯高高齢者生活福祉センター事業（飯高）	事業シートNo 1－7	
担当部署	飯高支所地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	15,076,867 101%
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①一人暮らしに不安のある方の入居受入れ・入居者への通院対応や後見人申立による面談など、状況に応じて柔軟な対応を行った。</li> <li>②コロナ禍において感染防止対策を継続して運営ができた。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施設管理運営における感染症対策を行いながら貸館業務及び入居者への対応を引き続き継続していく必要がある。</li> <li>②施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えてきている。</li> <li>③次回更新に向け課題整理を行っていく必要がある。</li> </ul>		<p>【財源内訳】</p> <p>受託金(松阪市) 13,752,037</p> <p>利用料 1,324,830</p>	

**【次年度への改善】**

- ①施設運営も含めた組織としての危機管理体制を整備していく。
- ②施設設備について、修繕箇所を含め松阪市と協議し、計画的に対策を進めていく。
- ③施設マネジメントとして、施設経営と実施事業などについて課題整理を行っていく。

**◆活動実績(取り組み)**

避難訓練 2回 参加者延べ人数 85名

※デイサービスと共同で実施

**②社協施設の適正な運営及び利用の促進**

(単位：円)

施設名	松阪支所（松阪）	事業シートNo 1－8
担当部署	松阪支所地域福祉係	事業費実績 (前年度比)
		— —
<b>【成果】</b>		<b>【財源内訳】</b>
①支所内事業所間における多職種連携にて、各々が持つネットワークの共有を図ったことで新規貸館利用者の獲得に繋がった。また、市内他障がい事業所のイベント誘致や鎌田中学校内の地域交流センターとの連携による企画事業の実施などによって、より幅広い世代の利用促進ができた。		利用料 —
②環境美化意識向上のため職員の当番制で館内清掃を行い、清掃委託費を削減した。また、支所玄関ホールに受付案内カウンターを設置し可能な限り1Fにて来客対応することで、感染防止対策の徹底と円滑な各種サービス案内を行った。		繰入金(自主財源) —
<b>【課題】</b>		
①コロナ禍でのイベントや会議の開催に関する相談が増えており、感染防止対策を整えたいうでの貸館利用について広く周知を行い、引き続き新規利用者を獲得していく。		
②社協全体のBCP(※3)取組についての進捗状況を確認しながら、支所内各事業所の防災マニュアルと整合性のとれた支所の防災計画、訓練実施要領などの整備を行う必要がある。		

**【次年度への改善】**

- ①支所独自の防災マニュアルの構築
- ②近隣地域での松阪支所に対するニーズを再確認し、求められる施設整備について検討する。そのために、地域のコミュニティーなどで調査・聞き取りを行い、具体的な取組みを地域へフィードバックする。
- ③調理室の有効活用について、松阪市ほか関係機関の協力のもと利用促進を行う。

(単位：円)

事業名	社会福祉センター管理補助事業（嬉野）	事業シートNo 1－9
担当部署	嬉野支所地域福祉係	事業費実績 8,877,414 (前年度比) 78%
【成果】	<p>①施設設備の修繕を進めることができた。 集会室照明取替(LED) 空調機器の予防修繕費用の予算計上 施設診断費用の予算計上</p> <p>②地区福祉会と協同で新規事業が実施できた。 ★のびのびBABY・KIDSひろば★</p> <p>③支所玄関ロビーに受付カウンターを設置し来客対応と感染予防対策を実施した。</p>	【財源内訳】
【課題】	<p>①建物の老朽化に伴う計画的な修繕と自主財源の確保</p> <p>②新型コロナウイルスなど、施設管理運営における感染症対策</p>	<p>補助金(松阪市) 7,694,000</p> <p>利用料 305,000</p> <p>繰入金(自主財源) 878,414</p>
【次年度への改善】	<p>①計画的な修繕と予算獲得</p> <p>②地域交流拠点とするため幅広い世代に活用できる仕組みづくり</p>	

## ◆活動実績(取り組み)

- ①社会福祉センター自主事業(一般開放(カラオケ)、就労継続支援B型事業所自主製品提示、  
★のびのびBABY・KIDSひろば★)
- ②赤い羽根共同募金配分事業(2人くらしのつどい、うれしの子どもクラブ)
- ③赤い羽根共同募金運動(恵カフェ)
- ④嬉野地区福祉会事業(写真展示)

## 第3章 福祉のまちづくり部門

### 1 概説

地域で安心して暮らすことができるよう住民・関係機関と連携し、住民が「住んでよかった」と思えるようなまちづくりと地域福祉を推進してきました。

令和2年度は上半期以降も引き続き、当たり前の日常を大きく変えた新型コロナウイルス感染症により、小地域福祉活動推進・赤い羽根共同募金をはじめ、社会福祉大会・児童発達支援地域スクール・ボランティアセンター事業・配食サービス・高齢者ボランティアポイント事業など、地域と共に進める事業や交流事業において中止や休止、事業縮小と大きく影響を受けることとなりました。特に、生活福祉資金貸付事業による「コロナ特例貸付け」と生活困窮者自立支援事業による「住居確保給付金」で相談が急増したため、非常勤職員を増やし、更に法人内の他部署より応援を受けながら業務を行いました。

このようなコロナ禍においても、地域福祉(活動)計画については「人・場・ネットワークづくり」を進めるために地域担当の推進チームを作り地域との関わり方を考えていく体制づくりをしました。また、令和3年度から新しい地域づくりの組織として住民協議会(まちづくり協議会)と自治会が一本化され住民自治協議会になること、令和5年度に第4期地域福祉(活動)計画を策定することについて松阪市と当社協とで話し合いの場を持ち、今後の進め方を協議してきました。

また、今年度は新たにコミュニティソーシャルワーカー(※1)を配置しました。今まで以上に個別相談支援に関わることで見えてきた生活課題について、地域課題に展開する視点を職員間で共通認識する1年となりました。

赤い羽根共同募金運動は、コロナ禍により大幅な募金額の減も予想されましたが、自治会長や民生委員児童委員、法人や商店をはじめ、たくさんの市民の方にご理解ご協力いただき、ほぼ例年通りの活動ができることとなりました。また共同募金助成事業については、「参加と協働による『新たなたすけあい』の創造～共同募金における運動性の再生～」70年答申に基づき事業の整理を進めました。

松阪市から受託し7月から開設している松阪市成年後見センターは、周知活動を行うことで相談件数が増加し、松阪市の権利擁護支援の一役を担うことができております。

## 2 事業シート

### (1)地域福祉活動計画事業の推進

(単位：円)

事業名	地域福祉活動計画事業(本所)	事業シートNo 2 - 1	
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績	10,390,000
		(前年度比)	93%
【成果】		【財源内訳】	
①第3期松阪市地域福祉(活動)計画の推進		補助金(松阪市)	10,390,000
<p>コロナ禍で困窮者世帯の増加により個別の課題が地域の課題となった。食糧支援を中心とした生活支援事業を実施したことで多くの企業や商店、市民が協力できるきっかけとなり、来年度の地域支援の事業展開へ繋げることができた。</p> <p>第4期の地域福祉活動計画の策定準備として、松阪市と協議し令和3年度から円滑に策定が進められるよう準備計画を整えた。また、まちづくり課・地域担当者中心に「人」「場」「ネットワーク」の各推進チームを結成し、具体的な取り組みの推進計画を策定できる体制を整えた。</p> <p>松阪市と共にセブンイレブンの移動販売を支援。過疎地域での買い物支援の体制づくりができた。</p>			
②小地域福祉活動の推進			
<p>感染症拡大の影響により、地域福祉活動の多くが縮小や中止を余儀なくされた。そのなかで、繋がりを絶やさない地域活動が実施できるよう、感染拡大防止対策を施しながら地域担当が中心となり丁寧に相談支援を行うことで、全地域へ小地域福祉活動助成を行うことができた。また、コロナ禍であっても小地域福祉活動が展開できるよう「コロナ禍における地域福祉活動ヒントブック ～今、地域で取り組めること～」を作成した。</p>			
③コミュニティソーシャルワーカー(※1)			
<p>地域から受ける「制度の狭間」「複合的課題」に対して「断らない相談支援」を実施した。高齢者の買い物難民問題や新型コロナウイルス感染症による生活困窮相談など、集約された課題を地域課題へ転換し、各関係機関と連携して支援体制の仕組みづくりに取り組んだ。</p>			
④相談支援包括化推進員(※2)配置準備			
<p>令和3年度配置に向けて、松阪市関係各課と協働し相談支援包括化推進員(※2)の責務や役割の確認を行った。また先進地視察(亀山・名張)など他市町の情報を収集し配置準備を行った。令和3年4月より実務経験10年、8年の職員を必要経費相当分の金額で受託した。</p>			
【課題】			
①第3期松阪市地域福祉(活動)計画推進			
<p>ア 地域福祉(活動)計画推進に向けて、社協が中心となり行う事業展開から住民が主体となる事業の展開</p> <p>イ 評価・課題を次年度に繋げる担当者間の仕組みづくり</p>			

<p>②小地域福祉活動推進</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響による地域福祉活動の停滞</p>	
<p>【次年度への改善】</p> <p>①第3期松阪市地域福祉(活動)計画推進</p> <p>ア「人・場・ネットワーク」づくりにおいて3つのチームによる計画の推進</p> <p>イ 43地区地域支援計画と評価の仕組みづくり</p> <p>ウ 住民や関係機関を巻き込んだ「福祉教育プログラム」の作成など、社協が中心となり行う事業展開から住民が主体となる事業の展開</p> <p>エ 生協との食糧支援協定など生活困窮世帯への安定した支援体制を整える。</p> <p>オ 寄付の仕組み整備(継続的に寄付を受付けて次年度へ持ち越せる仕組み)</p> <p>カ 第4期地域福祉(活動)計画策定に向け、個別・まちづくり視点を入れた事務局体制整備</p> <p>②小地域福祉活動推進</p> <p>感染症の拡大状況を踏まえた地域福祉活動の実施</p> <p>③コミュニティソーシャルワーカー(※1)の設置</p> <p>コミュニティソーシャルワーカー(※1)配置強化による相談支援体制の強化。社協内連携会議などを実施し、社協職員が丸ごと相談を受けとめ・断らない相談支援に対応できる体制整備を行う。</p> <p>④相談支援包括化推進員(※2)</p> <p>市役所内の各課や地域の支援機関への周知としっかりとした繋がり体制を作っていく。</p>	

◆活動実績(取り組み)

①第3期松阪市地域福祉(活動)計画推進

「人」「場」「ネットワーク」の各推進チームの活動内容

- ア 飯南地区福祉委員(※4)モデル事業(人づくり)
- イ 「コロナ禍における地域福祉活動ヒントブック」作成(場づくり)
- ウ 生活困窮支援事業を通じた協力支援体制づくり(ネットワークづくり)
- エ 松阪市と共にセブンイレブンの移動販売を支援(7月より飯南で週2回)

②小地域福祉活動推進 小地域福祉活動助成 34地区 総額 8,802,325円

地域ふれあい活動 : 2,422,000円(33件)      福祉活動啓発 : 892,000円(30件)

見守りネットワーク活動 : 498,625円(17件)      要配慮者など食事サービス : 3,396,100円(30件)

福祉教育活動 : 1,048,600円(22件)      在宅介護者のつどい : 180,000円(7件)

子どもの居場所づくり : 365,000円(9件)

③コミュニティソーシャルワーカー(※1)

- ア 制度の狭間、複合的課題(高齢、障がい、児童)への個別支援 5件
- イ 個別課題から地域課題への転換と支援体制の構築(高齢者買い物支援、生活困窮者物資支援)

④相談支援包括化推進員(※2)配置準備

- ア 相談支援包括化推進員(※2)設置に向けた松阪市との協議
- イ 他市町視察研修

## (2) 赤い羽根共同募金運動事業・助成事業の推進

(単位：円)

事業名	住民福祉活動事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2-2
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 12,331,479 (前年度比) 101%
【成果】	<p>①松阪市共同募金運動事業</p> <p>ア 個人の方が貯金箱を持ってきてくれたり、団体が中止となったイベントの経費を寄付してくれるなど、平時以上に関心を持ってもらう機会となった。古紙・アルミ缶・羽毛製品などの寄付も多かった。</p> <p>②助成事業</p> <p>ア 助成事業の要綱を見直し、市内全域で統一した助成が受けられるように助成事業毎に募集要項を作成した。</p> <p>イ 分かりやすく、地域に共感を得られる助成事業となるように、事業名や内容を見直し用途制限にかかる助成基準を作成した。</p> <p>③社協事業</p> <p>ア コロナ禍による生活困窮者支援を目的とした助成事業の展開により、地域の方々が興味を持つきっかけができた。</p> <p>イ あたたかい気持ちで年越しを迎えられるように12月28日に「あったかご飯プロジェクト」を実施。食糧や生活物品を100名超にお渡しし、相談支援を行った。事業に賛同した地域住民や企業から米などの食品や生活物品の寄付を受けた。</p>	<p>【財源内訳】</p> <p>共同募金(一般) 9,705,653</p> <p>共同募金(歳末) 2,447,000</p> <p>雑収入 91,259</p> <p>前年度繰越し 87,567</p>
【課題】	<p>①共同募金への理解を深めるための広報啓発、新しい媒体の活用</p> <p>②配分事業がより地域と繋がりを持てるよう、申請団体の福祉活動をサポートする仕組みの構築。コロナ禍での活動方法の提案</p> <p>③連年助成の助成事業・社協事業の事業評価、点検・見直し 地域福祉活動計画及び地域支援計画に沿った事業の企画</p>	
【次年度への改善】	<p>①動画媒体などを取り入れ、タイムリーな活動の様子を発信する。 分かりやすく、共感の得られる広報とするため、発行時期と内容や広報媒体を見直す。 障がい作業所やボランティアに協力を得て想いを紡げる広報資材や媒体を開発する。</p> <p>②助成申請を通し、団体の活動について申請の段階から地域福祉活動の協働や丁寧な寄り添い支援を行う。新しい生活様式での活動方法の提案</p> <p>③評価・点検・見直し表を作成し、事業内容について見直す。 地域福祉活動計画及び地域支援計画策定と連動した助成申請の計画作成 ※コロナ禍による事業中止により令和3年度に856,982円繰り越し</p>	

## ◆活動実績(取り組み)

### ①運動事業

- ア 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた募金運動の取り組み
- イ 10月1日の街頭募金を中止し、市長への表敬訪問や駅前・商業施設前など計5か所で、のぼり旗や音声によるキックオフ啓発を実施
- ウ 法人、企業や商店の協力による羽毛プロジェクト(羽毛製品の回収リサイクル)の啓発や、募金百貨店プロジェクト(協力企業による寄付つき商品の販売)などの募金運動を実施
- エ 古紙やアルミ缶の寄付品換金による募金手法と赤い羽根共同募金の啓発事業を実施
- オ 対面による感染リスク軽減ため戸別募金や法人募金について振込用紙を導入
- カ 寄付者の想いを紡ぐために絵手紙ボランティアの協力により、募金協力店証や礼状を作成
- キ 三重県共同募金会による『市町社協と共同募金』をテーマとした研修会を実施

### ②助成事業

- ア 市民活動団体助成(本所)9団体 計750,000円
- イ 福祉関連団体助成(本所)
- ウ 上半期地域福祉活動推進助成(松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)43団体 計2,325,000円
- エ 歳末地域福祉活動推進助成(松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)43団体 計2,325,000円
- オ 小地域福祉活動団体助成(松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)33団体 計4,287,960円

### ③社協事業

- ア 情報の発信に関する事業(本所)
  - 社協だよりによる共募事業及び運動の啓発(年6回)
  - ※共同募金のつどいは新型コロナ感染症拡大防止のため中止
- イ 地域福祉教育の推進(本所)
  - 地域住民などと連携して小中学校12回で開催
- ウ 被災者の支援・生活困窮者への支援(本所)
  - 火災見舞金9件、生活課題を抱える方への食糧提供約50件
- エ みんなの居場所づくり(松阪)
  - 障がい者アート作品展の実施(9月生活介護事業所あゆか展・11月NPO法人希望の園展)
  - ふらっとカフェの開催(全17回・延べ125名参加)
  - 幸せのリサイクルプロジェクトの実施(申請者8名・学用品提供数21点)
  - 物とココロの交流企画(受付点数466点・提供点数230点)
  - フードチョイスの実施(受付点数200点・提供点数160点)
- オ 市街地循環バス支援、共同募金啓発(松阪・嬉野) 計98,000円
- カ 歳末炊き出し活動(本所・松阪)
  - 「あったかご飯プロジェクト」12月28日食糧提供



事業名	障がい者福祉活動事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2 - 3
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 1,741,958 (前年度比) 76%
【成果】	<p>①松阪市共同募金運動事業 障がい作業所と協働して運動資材のポケットティッシュやマスク、チラシの製作したことや、地域の作業所の製品を寄付つき商品として販売したことで、より地域の方に募金活動に興味を持っていただけた。</p> <p>②助成事業 ア 助成事業の要綱を策定し、市内全域で統一した助成が受けられるように、助成事業毎に募集要項を作成した。 イ 分かりやすく、地域に共感を得られる助成事業となるように、事業名や内容について見直し、用途制限にかかる助成基準を作成した。</p> <p>③社協事業 ※ 障がい者施設団体交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	【財源内訳】
		共同募金(一般) 1,710,390 共同募金(歳末) 5,000 前年度繰越し 26,568
【課題】	<p>①共同募金への理解を深めるための広報啓発、新しい媒体の活用</p> <p>②配分事業がより地域と繋がりを持てるよう、申請団体の福祉活動をサポートするしくみの構築。コロナ禍での活動方法の提案</p> <p>③連年助成の、助成事業・社協事業の事業評価、点検・見直し 地域福祉活動計画及び地域支援計画に沿った事業の企画</p>	
【次年度への改善】	<p>①動画媒体などを取り入れ、タイムリーな活動の様子を発信する。 分かりやすく、共感の得られる広報とするため、発行時期と内容や広報媒体を見直す。 障がい作業所やボランティアに協力を得て想いを紡げる広報資材や媒体を開発する。</p> <p>②助成申請を通し、団体の活動について申請段階から地域福祉活動の協働や丁寧な寄り添い支援を行う。新しい生活様式での活動方法の提案</p> <p>③評価・点検・見直し表を作成し、事業内容について見直す。 地域福祉活動計画及び地域支援計画策定と連動した助成申請の計画作成 ※ コロナ禍による事業中止により令和3年度に717,170円繰り越し</p>	

## ◆活動実績(取り組み)

## ①運動事業

地域の障がい作業所との協働し、運動資材のポケットティッシュやマスク、チラシの製作や、寄付つき商品を開発

## ②助成事業

障がい施設・団体など地域交流行事助成事業(行事活動などへ支援) 11件・計400,830円

※ 障がい者団体行事助成(三雲)障がい者福祉団体交流会(飯高)は 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

事業名	高齢者福祉活動事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2 - 4
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 2,619,501 (前年度比) 89%
【成果】	<p>①松阪市共同募金運動事業</p> <p>地域に共感の得られる共同募金についての啓発を行ったことで、「コロナ禍で募金運動が大変だと思い募金を集めました。」と地域の宅老所や老人会など、新たなカタチによる共同募金運動への参加が得られた。</p> <p>②助成事業</p> <p>ア 宅老所実態調査(松阪)により、地域高齢者の集いの場の課題について確認できた。</p> <p>イ 助成事業の要綱を策定し、市内全域で統一した助成が受けられるように、助成事業毎に募集要項を作成した。</p> <p>ウ 分かりやすく、地域に共感を得られる助成事業となるように、事業名や内容について見直し、使途制限にかかる助成基準を作成した。</p> <p>③社協事業</p> <p>高齢者が身近な地域で集える場の課題調査、高齢者の見守り活動により、来年度の事業実施へ繋げることができた。</p>	<p>【財源内訳】</p> <p>共同募金(一般) 2,505,501 共同募金(歳末) 114,000</p>
【課題】	<p>①共同募金への理解を深めるための広報啓発、新しい媒体の活用</p> <p>②配分事業がより地域とつながりを持てるよう、申請団体の福祉活動をサポートするしくみの構築。コロナ禍での活動方法の提案</p> <p>③連年助成の助成事業・社協事業の事業評価、点検・見直し</p> <p>地域福祉活動計画及び地域支援計画に沿った事業の企画</p>	
【次年度への改善】	<p>①動画媒体などを取り入れ、タイムリーな活動の様子を発信する。</p> <p>わかりやすく、共感の得られる広報とするため、発行時期と内容や広報媒体を見直す。</p> <p>障がい作業所やボランティアに協力を得て想いを紡げる広報資材や媒体を開発する。</p> <p>②助成申請を通し、団体の活動について申請段階から地域福祉活動の協働や丁寧な寄り添い支援を行う。新しい生活様式での活動方法の提案</p> <p>③評価・点検・見直し表を作成し、事業内容について見直す。</p> <p>地域福祉活動計画及び地域支援計画策定と連動した助成申請の計画作成</p> <p>※コロナ禍による事業中止により令和3年度に317,806円繰り越し</p>	

◆活動実績(取り組み)

①運動事業 団体への共同募金啓発

②助成事業

ア 福祉関連団体助成(本所)1団体

イ 宅老所活動補助・活動支援助成(松阪・嬉野・三雲)99団体 計1,753,000円

③社協事業

ア 高齢者の集い(嬉野)

嬉野地区の80歳以上の夫婦を対象とした集いを行った。

イ 高齢者安心見守りネットワーク活動(飯高)

一人暮らし・二人暮らし世帯に詐欺防止のハガキを送付

ウ 宅老所実態調査の実施(松阪)11～12月 全67件

(単位：円)

事業名	児童福祉活動事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2 - 5
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 6,973,330 (前年度比) 99%
【成果】	<p>①松阪市共同募金運動事業</p> <p>ア 小中学校や高校の児童・生徒が、自身の企画でチラシや壁新聞、募金箱の手作りに取り組み、共同募金に興味を持っていただけた。</p> <p>②助成事業</p> <p>ア 助成事業の要綱を策定し、市内全域で統一した助成が受けられるように、助成事業ごとに募集要項を作成した。</p> <p>イ 分かりやすく、地域に共感を得られる助成事業となるように、事業名や内容について見直し、使途制限にかかる助成基準を作成した。</p> <p>③社協事業</p> <p>ア 黄色い雨傘贈呈により子どもたちの交通安全啓発を行った。</p> <p>イ 各小中学校で地域福祉教育を実施し、子どもたちが地域の福祉活動や障がい者への理解などに興味を抱くための支援ができた。</p>	<p>【財源内訳】</p> <p>共同募金(一般) 6,923,330 共同募金(歳末) 50,000</p>
【課題】	<p>①共同募金への理解を深めるための広報啓発、新しい媒体の活用</p> <p>②より地域とつながりを持てる活動となるよう、申請団体の福祉活動をサポートするしくみの構築。コロナ禍での活動方法の提案</p> <p>③連年助成の、助成事業・社協事業の事業評価・点検・見直し 地域福祉活動計画及び地域支援計画に沿った事業の企画</p>	
【次年度への改善】	<p>①動画媒体などを取り入れ、タイムリーな活動の様子を発信する。 分かりやすく、共感の得られる広報とするため、発行時期と内容や広報媒体を見直す。 障がい作業所やボランティアに協力を得て想いを紡げる広報資材や媒体を開発する。</p> <p>②助成申請を通し、団体の活動について申請段階から地域福祉活動の協働や丁寧な寄り添い支援を行う。新しい生活様式での活動方法の提案</p>	

③評価・点検・見直し表を作成し、事業内容について見直す。

地域福祉活動計画及び地域支援計画策定と連動した助成申請の計画作成

※コロナ禍による事業中止により令和3年度に2,005,042円繰り越し

◆活動実績(取り組み)

①運動事業

ア 小学校の教育活動において、コロナ禍でも共同募金運動に取り組んでもらえる方法についてハンドブックなどにより提案した。

②助成事業

ア 子どもの居場所づくり助成(全域) 4団体 計341,000円

イ 子育て支援行事助成(松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高) 28団体 計868,500円

ウ 子どもの行事助成(松阪・嬉野・三雲・飯南) 198団体 計3,836,200円

③社協事業

ア 子育てパパママ防災講座(松阪)9月 10組20名

※子どものクリスマスパーティーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 小学校新入学生の交通安全推進(三雲・飯高)

交通安全を目的とした雨傘の贈呈

ウ 保育園児との昔遊び交流会(飯南) 園児に凧をプレゼント

※老人クラブや民生委員との交流は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3)社会福祉大会事業

(単位：円)

事業名	社会福祉大会事業	事業シートNo 2-6
担当部署	福祉のまちづくり課・総務課	事業費実績 1,054,130 (前年度比) 31%
【成果】	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により会場での式典・フェスティバルは中止となったが郵送にて表彰ができた。</p> <p>松阪市社会福祉大会(第16回)</p> <p>松阪市の地域福祉に貢献された個人や団体への表彰と『ありがとう三行詩』入選作品の表彰を郵送にて行った。</p> <p>個人：48名 団体など：51団体 三行詩：26名(応募数：2030点)</p>	<p>【財源内訳】</p> <p>補助金(松阪市) 681,000</p> <p>繰入金(自主財源) 373,130</p>
【課題】	新型コロナウイルス感染症対策を施した大会運営	
【次年度への改善】	新型コロナウイルス感染症対策を施した大会運営の検討	

## (4)総合相談事業

(単位：円)

事業名	総合相談支援事業 (本所・松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2-7
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 4,009,000 (前年度比) 100%
【成果】 ①心配ごと相談事業(146件) コロナ禍で人との交流が途絶えるなか相談員が市民の日常生活の様々な相談に応じ、助言や援助を行うことで住民の福祉の増進を図った。 ②法律相談事業(226件) ※4月は新型コロナウイルス感染症の影響で休止。5月は電話相談とした。 弁護士による法律相談を行うことで、市民の法律的な心配ごとを無料で相談できる機会を提供した。 ③その他(職員による相談対応61件) 相談支援専門職が制度の狭間の課題を抱えた方の相談に対応し、専門機関や地域へ繋ぐことで課題解決の支援を行った。	【財源内訳】 補助金(松阪市) 4,009,000	
【課題】 災害時や新型コロナウイルス感染症など非常事態にも対応できる地域の総合相談窓口として機能する。		
【次年度への改善】 平時からコロナ禍などの緊急事態にも強い地域相談窓口の仕組みを構築する。		

## (5)資金の貸付事業

(単位：円)

事業名	生活福祉資金貸付事業	事業シートNo 2-8
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係 嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 9,848,991 (前年度比) 97%
【成果】 ①貸付を通じて低所得者世帯の自立・生活支援、社会参加のための相談・支援を行った。また、生活相談支援センターと協働し長期・複数回返済滞納者に対して手紙や電話、訪問による相談支援を行い償還完了に繋がった。 ②保護課と協働し要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付を行い、住み慣れた自宅で自立した生活を送れるよう支援した。 ③令和2年3月末からコロナ禍で生活に困窮した方に向け、拡大された緊急小口資金の特例貸付、総合支援資金の特例貸付に対し、(初回・延長)を実施し、当面の生活維持に向けた支援を行った。国の方針により継続中の再貸付にもしっかりと対応ができています。	【財源内訳】 受託金(本所) 9,789,729 (嬉野) 27,005 (三雲) 22,421 (飯南) 4,725 (飯高) 5,111	
【課題】 総合支援資金などは自立相談機関により生活再建に向けた自立のための相談支援により貸付に繋がるものであるが、コロナ禍終息の見通しが立たない状況のなか、再建に向けた相談ができない。		

コロナ特例貸付の償還事務を県が担う予定であったが市町社協で行うこととなった。

【次年度への改善】

特例貸付が6月まで予定されており、収入の減少などで一時的又は生活再建まで生活費用が必要な方に対して、住居確保給付金と合わせて迅速な対応が取れるように専用の貸付相談窓口を継続する。  
令和4年度より償還が開始に対応できるよう、膨大な貸付者の資料をデータ化し迅速な償還相談となるように準備する。

◆活動実績(取り組み)

特例貸付/緊急小口資金・総合支援資金(初回・延長・再貸付)申請数：1,205件 45,080万円  
 教育支援資金/教育支援費・就学支度費 21件(生活相談支援センターと協働1件・生活保護世帯2件)  
 緊急小口資金 25件(生活相談支援センターと協働21件)  
 要保護世帯向け不動産担保型生活資金 継続支援1件  
 福祉費 3件(生活相談支援センターと協働1件・生活保護世帯1件)

(単位：円)

事業名	つなぎ資金貸付事業	事業シートNo 2-9
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 185,000 (前年度比) 30%
【成果】 生活保護世帯の方が不測の事態となった際、少額の資金を貸し付けることで生活が維持できるように支援を行った。	【課題】 ※つなぎ資金貸付事業は旧松阪市から続いている独自の事業 被保護世帯で緊急やむを得ない事由が生じ、その出費によって日常生活に支障をきたす世帯を対象としているが、主な貸付実績は、保護費の紛失や家電購入による連年での貸付であり、金銭管理に支援が必要な方が多い状況である。 保護世帯に限定せず生活困窮者支援として事業展開している市町があり、松阪市にも生活困窮者支援としてのニーズがある。	【財源内訳】 償還金 185,000

【次年度への改善】

生活費のやり繰りが難しい複数回借り入れ者について、保護課担当者と協働し、不測の事態を予防できるよう日常生活自立支援事業の利用なども支援していく。  
継続して相談・貸付・償還業務を行いつつ、事業の終結や生活困窮者支援事業へ転換について協議していく。

◆活動実績(取り組み)

貸付：8件 160,000円 償還完了：11件 190,000円 未償還：13件 149,000円

(単位：円)

事業名	育英基金貸付事業（飯南）	事業シートNo 2-10
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業費実績 3,486,250 (前年度比) 198%
<b>【成果】</b> ①今年度も相談がなかったことから、飯南町に在住する飯南中学校と飯南南高校生徒の保護者に対して事業の周知及びアンケート実施について検討を行った。 ②償還金の滞納者に対し、催促通知を送付し、一部償還となった。 <b>【課題】</b> ①アンケートの結果を踏まえて、地域に対してどのような制度設計を行うか。 ②償還金の滞納について、一部を入金していただいたが、70万円弱の未償還が残っている。		<b>【財源内訳】</b> 償還金 3,234,000 利息配当金 252,250
<b>【次年度への改善】</b> ①アンケートの結果を踏まえて本事業の運営管理含め制度設計の見直しを行う。 ②滞納については、今後も督促通知などにて連絡を行い償還を促していく。		

## ◆活動実績(取り組み)

前年度末未償還金	9件	12,450,000円
令和2年度 貸付金	0件	0円
令和2年度 償還金	7件	3,234,000円
当年度末未償還金	6件	9,216,000円

(単位：円)

事業名	保育士修学資金貸付事業	事業シートNo 2-11
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 19,900,223 (前年度比) 154%
<b>【成果】</b> ①松阪市の保育士確保と定着を図るため、保育士資格を取得後市内の保育所で働く意欲を持った学生(指定保育士養成施設)に修学資金の貸付を行った。 ②平成31年度利用者のうち7名が松阪市で保育士として就業予定。他1名は在学中 <b>【課題】</b> ①低所得者向けの給付型奨学金が創設され申込者が減少した。 ②保育士養成施設卒業後、松阪市内保育士未就業者に対しての貸付金返還の方法や就業支援が必要である。 ③貸付審査基準の見直し		<b>【財源内訳】</b> 受託金(松阪市) 15,480,000 繰入金(自主財源) 4,420,223

【次年度への改善】

- ①高校の進路指導教諭会議において説明を行う。
- ②申し込み時に本人意思の確認ができるように申請書類の見直しを行う。
- ③貸付審査基準の整備

◆活動実績(取り組み)

- ・三重県教育委員会及び三重県私学課を通じて三重県下の高校へ周知を行った。
- ・松阪市の近隣に所在する高校へ訪問し事業説明、周知を図った。
- ・松阪社協の広報紙・ホームページへの掲載などにより周知を図った。
- ・三重県社会福祉協議会のホームページにリンクされた。
- ・松阪市保育士修学資金貸付審査委員会を3月16日に開催し、貸付予約者10件を決定した。
- ・平成31年度入学者へ貸付金を送金(10件)
- ・令和2年度入学者へ貸付金を送金(10件)

(6)受託運営事業

(単位：円)

事業名	配食サービス事業 (嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2-12
担当部署	嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 552,300 (前年度比) 25%
【成果】	各地域のボランティアから協力を得て、見守りを要し調理が困難な独居及び高齢者世帯に対して食事を提供することにより、安否確認や地域での見守りによる支援を行った。 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言などの状況下では、ボランティアの健康に配慮し配食サービスを一時的に中止したが、対象者が利用している福祉サービス、民生委員などとのネットワークにより地域の見守りへつなぐことができた。	【財源内訳】 受託金(松阪市) 276,000 利用料 276,300
【課題】	担い手不足により事業の継続が難しい地域もあるため、地域における見守りの仕組みやボランティアに頼らずできる方法など担い手の育成が急務となっている。	
【次年度への改善】	地域の実情に合わせて事業運営の方法を見直す。	

◆活動実績(取り組み)

拠点	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所
開催	月3回	月2回	月2回	4か所で各月1回
回数	25回	2回	7回	11回
食数	435食	27食	284食	174食



(単位：円)

事業名	緊急通報装置貸与事業 (松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 2-13
担当部署	松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所	事業費実績 67,000 (前年度比) 96%
【成果】	緊急通報装置貸与申請者に民生委員や地域の見守り体制、地域の要援護者の状況などを訪問調査した(67件)。	【財源内訳】 受託金(松阪市) 67,000
【次年度への改善】	地域担当者・民生委員・地域包括支援センターなど関係機関との連携調査事業を通じた地域課題の抽出と分析など、事業の方向性を再確認する。	

(単位：円)

事業名	高齢者ボランティアポイント事業	事業シートNo 2-14
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 2,498,630 (前年度比) 109%
【成果】	<p>①コロナ禍で施設などへの活動が休止となるなか、感染予防を講じながら状況に応じた再開・休止の相談支援を行った。また、活動員の希望に沿った活動先へマッチングした。</p> <p>②事業PRとして活動受入施設などへ「ささえさん通信」の発行、活動員募集チラシを配布し掲示依頼し、周知、啓発を行った。</p> <p>③研修交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。</p> <p>④活動受入施設に対して、今までの活動に対して良かった点や改善点などについてのアンケートを実施。その結果を来年度の活動へ反映させていく。</p>	【財源内訳】 受託金(松阪市) 2,498,630
【課題】	<p>①コロナ禍で活動再開が見通せない高齢者入所施設が多く、活動員の取消が多くなっている。感染の不安を解消し、感染状況に応じた再開・休止を促していく。</p> <p>②今後の事業の在り方について松阪市と協議していく。</p>	
【次年度への改善】	<p>外出支援通所サービスと介護予防に繋げてもらえるよう活動員を募集していく。</p> <p>公民館や市民センター、活動団体などへの周知を積極的に行う。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止に注視しながら活動再開を促していく。</p>	

◆活動実績(取り組み)

- ①オリエンテーションの開催(5回、21名参加)
- ②活動員(ささえさん)の研修交流会 中止
- ③ポイント転換交付金(101名対象、総額 377,000円)
- ④受入事業所へのアンケート調査を実施。49事業所より回答有
- ⑤コロナ禍での感染対策を講じた活動への相談支援

(単位：円)

事業名	児童発達支援地域スクール事業	事業シートNo 2-15	
担当部署	福祉のまちづくり課地域福祉係	事業費実績 (前年度比)	5,533,725 117%
<p><b>【成果】</b></p> <p>①夏季中止に伴う取り組み                      ア 地域スクール通信の発行・ケーブルテレビでのメッセージ発信                      イ 保護者への実態調査(アンケート)</p> <p>※中止になり参加できなかった子どもたちや保護者に、自宅で行えるレクリエーションや簡単おやつレシピ、新型コロナウイルス感染症対策などのメッセージを発信できた。</p> <p>②冬季・春季中止に伴う取り組み                      ア 地域スクール通信の発行                      イ 卒業生への寄せ書きを作成</p> <p>※保護者に地域スクール事業の目的や意味を伝え、子どもたちに向けた発信、継続して参加した生徒に卒業祝いがあった。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①保護者への実態調査アンケート結果を次年度以降に活用できるよう考えていく必要がある。</p> <p>②次年度以降の卒業生(継続参加者)への対応をどうしていくか検討していく必要がある。</p> <p>③スクールの目的である「地域との交流」について実行委員の中で協議が必要である。</p>		<p><b>【財源内訳】</b></p> <p>受託金(松阪市) 2,908,000                      繰入金(自主財源) 2,625,725</p>	
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①参加児童・ボランティア両者の安全確保を図るため、開催日数や規模を検討</p> <p>②新たな拠点づくり(松尾地区市民センター・豊地公民館など)</p> <p>③住民自治協議会などとの連携など居場所づくりの展開について地域担当者とも協議する。</p>			

◆活動実績(取り組み)

- ※コロナ禍で全ての開催が中止
- ※代替として通信・ケーブルテレビでの発信、卒業生への寄せ書き作成

## (7) ボランティアセンター事業

(単位：円)

事業名	ボランティアセンター事業	事業シートNo 2-16
担当部署	福祉のまちづくり課ボランティアセンター係	事業費実績 5,931,600 (前年度比) 107%
<p><b>【成果】</b></p> <p>①ニーズに対してボランティア連絡協議会にコーディネートを行い、新型コロナウイルス感染症に配慮し各地で活動してもらうことができた。(コロナ禍のため、学校関係は校外での活動の制限があり活動できなかった。)</p> <p>②ボランティアの連携強化と自己研鑽、また、新型コロナウイルス感染症を正しく知り活動の助けとなるように研修会を行った。(三密を避けるため、市内3か所にて実施)</p> <p>③ボランティア育成として「絵手紙ボランティア講座」を行い、現在活動中である絵手紙ボランティア「絵夢」の補強を行った。</p> <p>④災害ボラセンサポートスタッフ養成研修(第9期生)を実施した。</p> <p>⑤松阪多気ブロック災害時広域連携協議会設置に向けた会議に出席を行い、地域間連携に向けて協議を行った。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①新型コロナウイルスの影響で多くのボランティア活動が自粛せざるを得なくなった。活動が休止したことによるサポートなど、今の状況下で取り組める活動を実施していく必要がある。</p> <p>②高齢化によりボランティア活動の継続が困難となり、活動終了を希望しているグループがある。ボランティアセンターと各支所が連携しながら、グループの想いに寄り添いサポートを行っていく必要がある。</p> <p>③コロナ禍のため次年度の活動を休止し、感染症収束後に再開を予定しているボランティア団体に対し、休止中も繋がりを絶やさない取り組みが必要である。</p>		<p><b>【財源内訳】</b></p> <p>補助金(松阪市) 5,431,600 寄附金 500,000</p>
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①ボランティア活動などの情報発信の更なる強化(SNS活用・松阪市アプリとの連携など)</p> <p>②災害時における体制づくりの推進</p> <p>③松阪市受援計画の策定に向け「ボランティアの受入れ」について関わりを持つようにする。</p>		

## ◆活動実績(取り組み)

## ①登録ボランティア数

	松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
グループ (人数)	44グループ (648名)	15グループ (202名)	11グループ (169名)	4グループ (125名)	12グループ (176名)	86グループ (1,320名)
個人	9名	5名	0名	0名	5名	19名
計	657名	207名	169名	125名	181名	1,339名

②松阪市ボランティア連絡協議会との協働事業

会議(総会・役員会・打合せなど)：25回 行事(イベント・研修・交流会など)：7回 合計：32回

③ボランティア派遣実績

依頼件数：620回 派遣人数：4,366人 ※派遣内容の詳細 P54

④ボランティア団体助成金 19団体 助成総額 1,181,600円

⑤主な行事・講座実績

- ア 傾聴ボランティアフォローアップ研修(5回開催、50名参加)
- イ 絵手紙ボランティア養成研修(全6回、10名受講)
- ウ ボランティアフェスタ…三重県立こどもの城にて計画するが中止
- エ 手話啓発事業(手話サロン)1月23日(土) 会場：松阪市社会福祉協議会松阪支所…中止
- オ サマーボランティアスクール(2日間、20名参加)
- カ 災害ボランティアセンター・サポートスタッフ養成講座(9期生、5回開催、12名参加)

⑥災害ボランティアセンター運営推進事業

- ア 松阪市災害ボランティアセンターの設置・運営について、松阪市関係部局と協議
- イ 松阪市受援計画策定の検討(本格協議は令和3年度の予定)
- ウ 松阪多気ブロック災害時広域連携協議会設置に向けた会議に出席を行い、地域間連携に向けて協議を行った。

⑦災害ボランティア活動 コロナ禍のため県外派遣なし

⑧被災者支援事業

松阪市社会福祉大会・福祉フェスティバルが中止となったため、当社協職員向けに大槌町漁港の物産販売を行い、販売差額を大槌町への寄附に充て東北復興支援を行う。

(単位：円)

事業名	ふれあい体育祭事業	事業シートNo 2-17
担当部署	福祉のまちづくり課ボランティアセンター係	事業費実績 33,000 (前年度比) 3%
<p><b>【成果】</b></p> <p>① 4月14日に第1回実行委員会を予定していたが、国の緊急事態宣言を受け延期する。当初予定の6月7日実施も延期</p> <p>② 7月3日に第1回実行委員会を開催し今年度の実施について諮るが、当事者団体の多数より参加が難しいとの意見を受け、今年度の開催について見送ることとなる。</p> <p>③ 2月5日付で次年度開催についてのアンケートを郵送する。18名中13名より回答を頂き、アンケート結果について通知する(次年度実行委員会の案内も同封)。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、これまでのような密になる環境での実施は難しい。三密を避けるため人員や時間の制限、内容などの検討が必要である。</p>		<p><b>【財源内訳】</b></p> <p>補助金(松阪市) 33,000</p>

【次年度への改善】

新型コロナウイルス感染症拡大により、これまで通りの開催は難しいと思われる。今年度実施したアンケートの意見をもとに実行委員会にて検討していく。

◆活動実績(取り組み)

実行委員会：7月3日(金)

場 所：松阪市福社会館3階大会議室

内 容：今年度の事業実施について中止の決定を行う。

(8)日常生活自立支援事業

(単位：円)

事業名	日常生活自立支援事業	事業シートNo 2-18
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	事業費実績 19,505,195 (前年度比) 73%
【成果】	<p>①令和3年度より、非課税・預貯金200万円未満の利用者に対する三重県社会福祉協議会からの助成金が廃止されることを受け、低所得者世帯の負担軽減を考慮した松阪社協の助成金規程を作成した。</p> <p>②年度途中に他部署の影響を受けて職員配置換えの必要性が出たため、新任職員が加わることとなったが、新規契約者数は前年と同数を保つことができた。</p>	<p>【財源内訳】</p> <p>受託金(県社協) 11,844,600</p> <p>利用料 1,578,750</p> <p>助成金 759,000</p> <p>(松阪社協)</p> <p>繰入金(自主財源) 5,322,845</p>
【課題】	<p>①新規契約はあるが、相談件数も多く待機者解消には至らない。</p> <p>②新しく登録した生活支援員もいるが、生活支援員の退職者があり増員には繋がっていない。</p>	
【次年度への改善】	<p>①待機者数を少なくするため、実現可能な取り組みを考え実行する。 待機の期間が長くなった際は申請者に定期的に連絡を入れていく。</p> <p>②生活支援員確保のため、養成講座などの開催方法など見直しを行う。</p>	

◆活動実績(取り組み)

①令和2年度実績

(件)

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談援助件数	1,206	216	1,582	219	3,223
契約件数	16	4	11	4	35
解約件数	15	5	3	2	25

②実利用者件数(令和3年3月末現在)

(件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
67	32	50	11	160

③生活支援員関係

登録人数：31名 活動人数：28名 支援回数：延べ2,794回

④研修会などの開催

令和2年度 日常生活自立支援事業 生活支援員などスキルアップ研修会(1回開催、5名参加)

## (9)地域後見サポート事業

(単位：円)

事業名	成年後見センター事業、法人後見事業	事業シートNo 2-19
担当部署	福祉のまちづくり課権利擁護係	事業費実績 成年後見センター事業 12,096,228 法人後見事業 1,550,199 (前年度比) 2525%
【成果】 相談事業などこれまでの活動実績から、松阪市より「松阪市成年後見センター」を委託されることとなり、令和2年7月に開設。福祉専門職・行政職に向けた研修を、オンラインと会場を併用するなど感染症対策をしながら実施		【財源内訳】 成年後見センター事業 受託金(松阪市) 11,000,000 繰入金(法人後見) 1,096,228
【課題】 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、上半期は研修や会議などがほとんどできなかった。コロナ禍で、施設や病院などへの訪問などに制限がある中での円滑な支援を行う。		法人後見事業 自己負担金(後見など事務費) 142,703 利用料(後見など報酬) 1,407,496
【次年度への改善】 成年後見センター事業の相談や利用支援などの活動実績を積み重ね、令和5年の中核機関受託を目指し松阪市と協議していく。法人後見の受任を重ね、担当職員の後見業務に対する理解などを深めていく。		

## ◆活動実績(取り組み)

## ①成年後見制度への取り組み

ア 成年後見制度の情報提供と相談支援 新規相談件数：100件

イ 広報・啓発

成年後見制度や地域後見サポート事業の周知するため福祉専門職・行政職に向けた研修会を開催(会場12名・オンライン27名参加)

市民、介護支援専門員および社会福祉士の専門職を対象に「成年後見制度」に関する研修 10回

## ②法人後見事業

ア 法人後見運営委員会の開催(年3回開催、委員7名)

イ 市長申し立ての申込みに関する支援

親族や本人申立に関する相談が多く、市長申し立ての紹介は3件

ウ 後見人(類型：後見・保佐・補助)を受任

9件(後見5件、保佐4件)受任 ※令和3年3月末時点では7件(後見4件、保佐3件)

内訳：入院・入所3件、在宅6件 ※令和3年3月末時点では入院・入所2件、在宅5件

新規受任1件(後見)

死亡による終了2件(後見1件、保佐1件)

エ 専門職や関係機関との連携

専門職などからの成年後見制度に関する相談30件

## ③相談ネットワークの構築

ア 他機関と連携強化、ネットワークの構築

成年後見推進に向けた課題解決会議(7月14日、9月18日、1月8日)

中核機関設置・運営に関する情報共有ミーティング(12月9日)

## (10)生活困窮者自立支援事業

(単位：円)

事業名	生活困窮者自立相談支援事業	事業シートNo 2-20
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業費実績 21,116,000 (前年度比) 123%
<p><b>【成果】</b></p> <p>①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、住居確保給付金の法改正による対象要件の緩和があり、これまでにない膨大な数の相談があった。緊急性を要する経済的困窮に関する相談対応には取り組むことができたが、複合的課題及び慢性的課題を抱える方に対して、きめ細かな相談支援をすることが困難であった。</p> <p>②多機関連携について、新型コロナウイルス感染症における社会情勢を鑑み支援調整会議は参加人数を減らし小規模での開催とした。個別ケースの中で多機関協働で支援にあたる必要がある場合にはWeb形式でのケース会議を利用して連携を図ることができた。</p> <p>③松阪市との話し合いを重ね、令和3年度より相談支援包括化推進員(※2)の配置に繋がった。また、自立相談支援と相談支援包括化推進員(※2)の役割分担について社協内の専門職で協議をした。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①新型コロナウイルス感染症に関係する支援制度の利用には限りがあり、制度利用後における支援方法の確立ができておらず、新たな社会資源の開発などが必要</p> <p>②新型コロナウイルス感染症などの非常事態でも関係機関同士で協力し合えるネットワークの構築</p> <p>③相談支援包括化推進員(※2)との協力支援体制の構築</p>		<p><b>【財源内訳】</b></p> <p>受託金(松阪市) 21,116,000</p>
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方への相談対応を引き続き行い、他事業との連携も図り必要な社会資源の開発を目指したい。また、きめ細やかな個別支援が必要な方に対して伴走型支援を行い、複合的な問題の解決を図りたい。その他、相談支援包括化推進員(※2)とも協力しながら多機関連携を強化していきたい。</p>		

## ◆活動実績(取り組み)

- ・新規相談受付件数：1,132件(前年度実績：360件)
- ・継続相談受付件数：6,236件(前年度実績：2,834件)
- ・プラン作成数：37件(前年度実績：70件)
- ・履歴書証明写真の撮影：3件(前年度実績：9件)
- ・面接のためのスーツ貸出し：4件(前年度実績：9件)
- ・就職決定者86名(前年度実績：64件)
- ・住居確保給付金 のべ相談件数：1970件(前年度実績：56件)
- 申請件数：205件(前年度実績：8件)
- 支給決定件数：201件(前年度実績：8件)

事業名	生活困窮者家計改善支援事業	事業シートNo 2-21
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業費実績 5,561,390 (前年度比) 108%
<b>【成果】</b> ①新型コロナウイルス感染症の影響を受け、自立相談支援機関自体の相談が急増した。家計改善支援員が相談支援員と兼務していることもあり、これまでのように家計に特化した支援をきめ細かく実施することが困難であった。それに伴い、家計にまつわる相談自体も前年比で70%、プラン作成件数は前年比23%と共に減少している。支援プラン化に至らないケースも、単発の家計診断などの支援は実施した。 ②家計に関する内容で多職種連携や、ケース会議の依頼があり参加した。また、生活保護受給世帯について、生活保護廃止後の生活支援に向けたケース会議にも初めて参加し、切れ目のない支援を実施した。		<b>【財源内訳】</b> 受託金(松阪市) 5,143,000 繰入金(自主財源) 418,390
<b>【課題】</b> ①自立相談支援機関自体の相談者の増加により、全相談員が対応に追われていたため、家計支援のニーズ把握から家計改善支援員に繋ぐ従来の形が取れなかった。 ②多職種連携も増加傾向にあるが、家計改善支援の対象者になりにくい相談も増えている。 ③新型コロナウイルス対応の特例貸付の利用者が急増したが、増収や収入安定がしづらい社会情勢を鑑みると、家計改善支援の効力が乏しい。		
<b>【次年度への改善】</b> 相談者が急増した場合でも家計改善支援事業の相談に繋がられる仕組みづくりをする。一方で家計改善支援で効果が期待できない相談者に対し、より適切な支援機関に繋ぐ視点を支援員が持つ必要がある。今後、新型コロナウイルス対応の特例貸付の相談者の継続が見込まれることから、貸付との連携を強化したい。		

## ◆活動実績(取り組み)

## ①主な支援の内容

ア 家計管理に関する支援(家計表及び家計計画表の作成など、家計の「見える化」を実施)

イ 分納相談や支出軽減手続きの同行支援(収納課、保険年金課、上下水道お客様センター、弁護士・司法書士など)

ウ 貸付のあっせん(通常貸付・コロナ特例貸付)

## ②作成・相談件数など

プラン作成件数10件(前年度44件)

相談件数845件(前年度1,206件)

弁護士や司法書士への同行支援3名(うち1人が債務整理手続きを開始)



事業名	生活困窮者就労準備支援事業	事業シートNo 2-22
担当部署	福祉のまちづくり課生活相談支援係	事業費実績 6,611,497 (前年度比) 104%
<b>【成果】</b> ①長期間就労していない方などに就労までの準備段階に寄り添い、日常生活自立・社会生活自立・就労自立の支援を行ってきた。 ②人との関わりがなかった方をふらっとカフェに繋ぐことで生活リズム及び体調を整え、炊き出しボランティアへの参加を果たせた。 ③就労体験をしながら面接の練習、履歴書の書き方を覚え、就労広場で就労に向けての準備を整えながら就労に結びつくことができた。 ④これまでの協力事業者などを通じ、新たな事業者の紹介があった。		<b>【財源内訳】</b> 受託金(松阪市) 5,867,000 繰入金(自主財源) 744,497
<b>【課題】</b> ①就労体験の受け入れについて、新型コロナウイルス感染症の影響もあり企業などの協力を得ることが難しい状況であった。 ②新たな協力事業者の登録ができていない。		
<b>【次年度への改善】</b> 地域のなかで地域担当、地域の方を通じて協力事業所の発掘 ひきこもりの方に向けて、手紙やメールを出したり、zoomなども活用してアウトリーチ出来るようにしていく。また、相談支援包括化推進員(※2)と連携をとりながら進めていく。		

## ◆活動実績(取り組み)

## ①主な支援の事例

人とのやり取りの苦手意識を軽減するためにふらっとカフェを紹介し利用10回(10月～2月)を実施

就労継続支援B型事業所で2名の就労体験(2月)を実施

炊き出しボランティア体験を2名実施(12月)

未来を予約する手帳づくり(1件)

アニキ塾の企画(2月)

本人の生きづらさに寄り添う中で、本人が障がい受容できるよう支援

## ②利用・相談件数など

利用件数 6件(前年度 9件)

相談件数137件(前年度167件)

協力事業所10事業所

アニキ塾の企画(1件)

事業名	地域福祉活動ステップアップ支援事業	事業シートNo 2-23
担当部署	飯南支所地域福祉係	事業費実績 225,000 (前年度比)
【成果】 当初計画していた座談会や講演会が、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた。しかし、再度何かできないか検討を重ねて、民生委員に対し、民生委員の改選から1年ほど過ぎて自身の活動の思いや不安などについてアンケートを行った。 また、飯高の森地区においても担い手のニーズが出てきたため、森地区の状況を飯高地域担当や包括支援センターと共有することができた。	【財源内訳】 助成金(県社協) 225,000	
【課題】 ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けないような座談会のあり方、自治会など小さい単位での座談会のような格式ばらない話し合いの開催を、感染拡大防止策を取りながらどう行っていくか。 ②見守り体制と言ってしまうと、無意識に「見る」「見張られる」のような関係性に陥ってしまう。そうではなく、普段の生活の中でお互いが気遣いあえる関係性、居心地のいい地域づくりをどのように築いていくか。		
【次年度への改善】 ①飯南地域での見守り体制づくりの参考として、地域のリーダー的な役割の方（地区福社会役員や民生委員など）を対象に飯高地域の診療所の医師から話を聞く機会を設ける。 ②福祉委員(※4)の取り組みを行っている三重県内の市町から話を聞く啓発イベントを、新型コロナウイルスの感染状況やワクチン接種状況にもよるが、秋頃設けていきたい。(①、②については40～50人規模を想定) ③アンケートの結果を踏まえて地域において、自治会などの小単位での研修を行う。(2か所)		

## 第4章 在宅福祉サービス部門

### 1 概説

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響を受けた年でした。新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、利用者・職員の安全を第一に事業継続を行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として、利用自粛の減収に対して、通所介護において2区分上情報報酬算定の実施をすることで、収入の減少を大幅に抑えることができました。

障がい事業所については、サービスの利用を中止し自宅で過ごす利用者に対し、健康観察や相談などの支援を行いました。また、このような取り組みをすることにより、臨時的在宅支援の加算算定を実施しました。

国からの新型コロナウイルス感染症包括化支援金の活用により、感染症対策として消毒液などの消耗品や空気清浄機の購入などの環境整備を実施し、感染症予防に努めました。

各事業所の管理者会議や研修会をWeb形式で実施し、職員間の接触の機会を減らし感染症予防対策に努めました。

また、法人が運営する施設においては、指定管理期限が令和4年3月末にて終了を迎えるグループホームいいたかの施設マネジメントを行い、施設の課題整理を行いながら理事会へ報告を行い協議を重ねました。他にも松阪市との施設賃貸借契約終了(令和5年3月末)となる嬉野ゆうゆうの施設・事業マネジメントを継続的に実施しています。

松阪支所を中心に、事業の収益改善などの見直しを行い理学療法士の退職に伴う福っきー体操くらの事業再編を行いました。

職員の資質向上と資格取得の支援として、介護職員初任者研修を毎年実施していますが、チラシなどのPRの方法を検討し、受講生の増加に繋がりました。介護福祉士の資格取得のためには、介護職員実務者研修の受講が必要になるため、他法人と連携し、松阪支所で開催することで当法人の職員も参加しやすく、カフェ「えみりあ」の利用などにも繋がっていききました。他法人との連携も含め介護福祉士の資格取得のためのルートができたことで、令和2年度の介護福祉士資格取得者も増え、その後の事業所における質の向上や人員配置による加算取得に繋げることができました。

法人全体として、今後も指定管理施設の施設マネジメント・事業マネジメントを各支所と連携し、令和3年度介護報酬改定に伴う加算取得に向けて取り組みを進めていきます。

2 事業シート

(1) 在宅福祉サービス事業

(単位：円)

事業名	在宅福祉サービス事業	
担当 部署	在宅福祉サービス課	事業費実績 1,059,604 (前年度比) 102%
【成果】	<p>①各サービス事業の課題を洗い出し、各支所と連携して改善に向けた取り組みができた。(収益改善・法令順守の徹底など)。</p> <p>②職員資質向上のための研修会の企画・実施 (虐待防止・感染症対策・サービスのリスク管理など)</p> <p>③特別支援学校との連携 (進路懇談会・保護者対象の事業所説明会への参加など)</p> <p>④グループホームいいたか及び嬉野ゆうゆうの施設マネジメント</p> <p>⑤新型コロナウイルス感染症対策補助金事業を各事業所へ周知</p> <p>⑥事業の再編(福っきー体操くらぶ)</p> <p>⑦職員資格取得のための支援</p>	【財源内訳】
【課題】	<p>①感染拡大に伴うサービス利用自粛によるサービス事業所の収入減</p> <p>②上位の配置加算が取得できていない。</p> <p>③赤字事業所の収益改善</p> <p>④書類作成のスキル向上</p> <p>⑤報酬改定により無資格者は介護事業所で従事できなくなる。</p>	自主財源 1,059,604
【次年度への改善】	<p>①最新の感染症に関する情報を周知し、事業所が速やかに実践できる。</p> <p>②法改正に伴う委員会の設置や研修の実施</p> <p>③収益改善の取り組み(加算取得や人員配置など)</p> <p>④法令順守徹底のために内部監査を継続</p> <p>⑤嬉野ゆうゆうの事業・施設マネジメント</p> <p>⑥指定管理施設の施設マネジメント</p> <p>⑦職員資格取得のための支援(介護職員初任者研修の開催・実務者研修の連携など)</p>	

## (2) 人材育成事業

(単位：円)

事業名	初任者研修事業	
担当 部署	在宅福祉サービス課	事業費実績 686,525 (前年度比) 267%
<b>【成果】</b> ①介護職員初任者研修の実施により介護知識の習得と介護福祉士へのステップアップとなった。 ②松阪支所にて開催したことで、他法人の職員も通学しやすく受講生が増加し、支所内のサービス事業の周知にも繋がった。 ③居宅介護支援事業所の協力により、各サービス事業所へ初任者研修の案内チラシ配布して周知を図った。 ④新型コロナウイルス感染症予防のため、換気や消毒などの対策を行った。 ⑤受講生アンケートを実施した。 ⑥講師を法人内の職員が行うことで、職員側のスキルアップに繋がられた。		<b>【財源内訳】</b> 参加費収入 686,525
<b>【課題】</b> ①感染拡大に伴う受講生の減少の可能性 ②受講生増に向けた周知方法の検討 ③新たな講師の育成		
<b>【次年度への改善】</b> ①令和3年度の法改正に伴い、無資格の介護職員は3年の経過措置期間内に認知症介護基礎研修の受講が必須となり、初任者研修開催周知を図る。 ②感染症対策を講じた研修開催 ③受講生アンケートを活かした研修の実施		

(単位：円)

事業名	サービス担い手養成事業	
担当 部署	在宅福祉サービス課	事業費実績 120,000 (前年度比) 240%
<b>【成果】</b> ①松阪市と連携し、周知を図ったことで受講生が増加した。 ②地域を対象に研修を開催したことで、地域包括支援センターや地域と連携し、地域課題の洗い出しにつながった。 ③福祉のまちづくり課と連携し、職員が講師を担うことで、地域の問題や取り組み事例についての周知につながった。 ④研修が好評で、他の地区でも開催したいとの依頼があった。		<b>【財源内訳】</b> 受託金(松阪市) 120,000

<p><b>【課題】</b></p> <p>①松阪市からの委託事業として実施していたが、受講生があっても担い手の登録には至らなかった。</p> <p>②受講生は地域課題解決が必要だと理解をしているが、地域の担い手として実行することに不安がある。</p> <p>③ボランティアとの違いに戸惑いがある。</p>
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①松阪市との協議の結果、令和3年度からは松阪市高齢者支援課が直接実施することとなった。</p>

(3) 高齢者福祉サービス

(単位：円)

事業名	訪問介護事業（松阪・飯高）	事業シートNo 3-1
担当部署	在宅福祉サービス課 訪問介護事業所（松阪・飯高）	
<b>【成果】</b>	<p>①登録ヘルパーの退職があり、契約職員を増員して対応を行った。</p> <p>②新規利用の依頼を断らずに受ける姿勢で対応を行った。</p> <p>③定期的な事業所内会議で事業所の稼働状況を共有することで、迅速に対応できた。</p> <p>④コロナ禍のため登録ヘルパー会議を一時期中止していたが、感染防止対策や時間別などの工夫により開催したことで、会議への参加率が向上した。</p> <p>⑤感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。</p> <p>⑥感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p>	<p>事業活動収支 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 61,307,256 93%</p> <p>事業活動支出 70,058,836 96%</p> <hr/> <p>差引 △ 8,751,580</p>
<b>【課題】</b>	<p>①登録ヘルパーへのキャンセル料や移動費の支払いに伴う支出増</p> <p>②感染症対策の徹底と訪問介護員の精神的負担の軽減</p> <p>③登録ヘルパー減によるシフト調整</p> <p>④感染拡大に伴う利用自粛による収入減</p> <p>⑤契約職員の増員による人件費の増</p>	<p><b>【拠点別内訳】</b></p> <p>松阪支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 35,058,420 90%</p> <p>事業活動支出 40,991,406 94%</p> <hr/> <p>差引 △ 5,932,986</p> <p>飯高支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 26,248,836 98%</p> <p>事業活動支出 29,067,430 100%</p> <hr/> <p>差引 △ 2,818,594</p>
<b>【次年度への改善】</b>	<p>①登録ヘルパーのシフトを工夫することで、移動費などの削減につなげる。</p> <p>②新規登録ヘルパーの募集と確保</p> <p>③空き情報を常に把握し、依頼に迅速に対応する。</p> <p>④更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。</p>	

事業名	通所介護事業（嬉野・三雲・飯南・飯高）	事業シートNo 3-2
担当	在宅福祉サービス課	
部署	通所介護事業所（嬉野・三雲・飯南・飯高）	
【成果】		事業活動収支 (前年度比)
①感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。		事業活動収入 288,061,777 107%
②介護報酬で2区分上位の加算取得について、利用者へ説明し、収入減を大幅に抑えることができた。		事業活動支出 232,294,258 105%
③利用者・家族のニーズに沿って、在宅でターミナル期を過ごす利用者の受け入れを行った。		差引 55,767,519
④理学療法士を配置し、リハビリ加算を取得し利用者の身体機能・維持向上に努めた。		【拠点別内訳】
⑤感染症対策のためボランティアを招くことができなかったが、施設内での喫茶コーナーや園芸活動・創作活動に力を入れて実施した。		嬉野支所 (前年度比)
⑥新規利用者の受け入れを積極的に行い、収益増につながった。		事業活動収入 71,452,450 110%
⑦感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。		事業活動支出 60,504,996 101%
【課題】		差引 10,947,454
①施設の老朽化により空調修理の費用負担の増大		三雲支所 (前年度比)
②利用者の重度化に伴い、死亡・入院・施設入所などの利用終了も多かった。		事業活動収入 62,490,690 107%
③令和3年度より定員増とするため、利用者確保する必要がある。		事業活動支出 55,522,519 109%
④軽度利用者の活動量を増やすことができていない。		差引 6,968,171
⑤マネジメント能力の向上		飯南支所 (前年度比)
⑥居宅介護支援事業所との関わりが希薄になりつつあるため、連携を図る。		事業活動収入 70,927,547 99%
⑦感染拡大に伴う利用自粛による収入減		事業活動支出 64,487,972 108%
⑧福っき体操くらぶ再編により、受入先事業所の負担増		差引 6,439,575
【次年度への改善】		飯高支所 (前年度比)
①総合事業の受け入れにあたり、職員体制やサービス提供体制の整備、マニュアルの作成		事業活動収入 83,191,090 112%
②介護職員のスキルアップを図るための勉強会や研修会への参加		事業活動支出 51,778,771 104%
③介護レベルの均一化と介護職員の人材育成		差引 31,412,319
④事業所内での行事内容を検討し充実を図る。		
⑤更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。		
⑥新規利用者獲得のための居宅介護支援事業所への周知		

(単位：円)

事業名	総合事業（松阪） 福っきー体操くらぶ	事業No 3 - 3
担当 部署	在宅福祉サービス課 福っきー体操くらぶ	事業活動収支 (前年度比)
【成果】		事業活動収入 13,816,900 191%
①事業形態の見直しにより、3か所の事業を統合再編を行った。 ア 福っきー体操くらぶいいなんを飯南通所介護事業へ統合 (令和3年4月) イ 福っきー体操くらぶうれしのを福っきー体操くらぶまつさか へ統合(令和3年3月)		事業活動支出 16,940,640 107%
②理学療法士が中心となってプログラムを提供し、口コミにより新規 利用者が増えてきている。		差引 △ 3,123,740
③拠点が1か所になった事で職員体制が整った。現場では利用者ニー ズの把握により利用者同士の交流を図ることで、利用者満足につな がっている。		
④感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかつ た。		
⑤感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。		
【課題】		
①水曜日午前の部が稼働できていない。		
②嬉野、三雲地区の新規利用者が獲得できていない。		
③利用者のADLの低下により、状態に応じたプログラムに変更でき ていない。		
④感染拡大に伴う利用自粛による収入減		
【次年度への改善】		
①関係機関との連携や営業活動により新規利用者の受け入れを進め収入増に繋げる。団体や数名での希望が あれば水曜日の午前の部に繋げる。		
②利用者のADL低下を考慮したプログラム提供を行う。運動に加え利用者同士の交流を深めていただき、利 用者満足度の向上を目指し、新規利用者の獲得を促す。		
③更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。		

(単位：円)

事業名	認知症対応型共同生活介護事業（飯高） グループホームいいたか	事業シートNo 3 - 4
担当 部署	在宅福祉サービス課 グループホームいいたか	事業活動収支 (前年度比)
【成果】		事業活動収入 74,470,772 100%
①感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかつ た。		事業活動支出 76,605,656 108%
②感染症の拡大状況を見て面会制限を実施		差引 △ 2,134,884



<p>③ご家族へのオンライン面会の実施</p> <p>④職員の永年勤続により令和3年度に最上位区分の加算取得</p> <p>⑤感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p> <p>【課題】</p> <p>①施設の老朽化に伴う修繕費・更新費用の増大</p> <p>②入所施設のため感染者が出た場合、クラスターのリスクが高い。</p> <p>③入居者の身体機能や認知機能の低下による職員の介護負担増</p>
<p>【次年度への改善】</p> <p>①更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。</p> <p>②指定管理施設期間満了に伴う施設マネジメント(民間譲渡への検討と判断)</p> <p>③人材の確保</p>

(単位：円)

事業名	外出支援通所サービス運営事業（嬉野・飯高） 嬉野いきいき・飯高サテライト	事業シートNo 3 - 5
担当 部署	在宅福祉サービス課 嬉野いきいき・飯高サテライト	事業実績 18,596,200 (前年度比) 101%
【成果】	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止をしていた期間があったが、感染防止対策を行いながら事業を再開した。</p> <p>②交流会などの大規模なイベントを中止して、感染症拡大防止に努めた。</p> <p>③近隣の感染症拡大の状況に応じて、松阪市と連携して事業の中止などを行った(感染拡大防止)。</p> <p>④感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。</p> <p>⑤感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p> <p>【課題】</p> <p>①利用者の介護保険などへの移行により、利用者数の減少。</p> <p>②感染拡大による利用自粛により身体機能の低下</p>	<p>【財源内訳】</p> <p>受託金 17,686,000</p> <p>利用料 910,200</p>
【次年度への改善】	<p>①地域の高齢者へアピールすることで、介護予防事業としての参加者を増やす。</p> <p>②介護予防事業として利用者ニーズの把握と改善</p> <p>③更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。</p>	

事業名	居宅介護支援事業（松阪・嬉野・飯高）	事業No 3 - 6		
担当	在宅福祉サービス課			
部署	居宅介護支援事業所（松阪・嬉野・飯高）			
<p><b>【成果】</b></p> <p>①コロナ禍で感染症対策を行いながら、断らないことを基本に新規利用者の受け入れを行った。</p> <p>②居宅介護支援事業所の統合により三雲支所に居宅介護支援事業所がないため、三雲地区を意識をして対応した。</p> <p>③地域包括支援センターと連携し、相談の受け入れを行ったことで担当件数は増となった。</p> <p>④一定期間であったが最上位区分である特定事業所加算Ⅰの算定を行った。</p> <p>⑤地域福祉係との連携や主任介護支援専門員会議にて、ケアマネジャーの立場から地域福祉の取り組みを行った。</p> <p>⑥居宅介護支援事業所においてBCP(※3)策定の取り組みを行い、一定の形に繋げることができた。</p> <p>⑦感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。</p> <p>⑧感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①コロナ禍のため組織内連携の場(勉強会など)をもつ機会が減少した。</p> <p>②重層的支援体制を意識した事業所づくり</p> <p>③在宅支援で医療系のサービスの増加や認知症の悪化によって在宅生活が困難になる。</p> <p>④収益向上に向けての業務の効率化</p> <p>⑤感染拡大に伴うサービス利用自粛による収入減</p> <p>⑥最上位区分である特定事業所加算Ⅰの算定は、利用者の中重度割合に左右される。</p>	<p>事業活動収支 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 161,812,670 104%</p> <p>事業活動支出 137,903,632 100%</p> <hr/> <p>差引 23,909,038</p>			
	<p><b>【拠点別内訳】</b></p> <p>松阪支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 55,280,460 109%</p> <p>事業活動支出 47,187,644 100%</p> <hr/> <p>差引 8,092,816</p>			
	<p>嬉野支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 65,369,910 101%</p> <p>事業活動支出 54,281,350 101%</p> <hr/> <p>差引 11,088,560</p>			
	<p>飯高支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 41,162,300 101%</p> <p>事業活動支出 36,434,638 97%</p> <hr/> <p>4,727,662</p>			
	<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①収益増に向けた積極的な加算取得（特定事業所加算Ⅰ含む）</p> <p>②地域福祉係との連携を図り地域の多様な生活課題の解決に向けて協働していく。</p> <p>③オンラインなどを活用し、勉強会や意見交換会などの開催</p> <p>④新規相談時に早期対応ができるように職員の調整</p> <p>⑤更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。</p>			

事業名	地域包括支援センター事業（第二・第三）	事業シートNo 3-7
担当	在宅福祉サービス課	事業実績 78,473,800
部署	地域包括支援センター（第二・第三）	(前年度比) 98%
<p><b>【成果】</b></p> <p>①緊急事態宣言下においては、相談件数が減少したが、年間通じて総合相談を展開した。</p> <p>②「もめんノート」を用いた権利擁護事業は、住民の関心が高く、問い合わせが多かった。</p> <p>③認知症地域支援として、学校と連携して認知症キッズサポーター養成講座を開催し、子供たちの認知症に対する理解を深めた。</p> <p>④平成30年の地域ニーズ調査の結果を受け、セブンイレブン移動販売の実施や、住民主体の生活支援への取り組みサポートを住民協議会と連携して進めている。</p> <p>⑤介護予防教室がコロナ禍で中止が続いたため、閉じこもりや筋力低下予防の運動を中心とした通信を作成し、地域へ配布した。また、松阪市と連携しケーブルテレビで放送をした。</p> <p>⑥例年より回数は減少したが、感染症対策を行いながら地域ケア会議を開催し、地域の課題解決について協議した。</p> <p>⑦感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。</p> <p>⑧感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①認知症支援においては、感染症拡大防止のため一部しか講座が開設できなかった。</p> <p>②総合相談から分析したデータを地域関係者と十分活用できていない。</p> <p>③介護者カフェは、参加者確保や定期開催が困難である。</p> <p>④認知症による徘徊で地域での捜索があり、認知症の理解について開催対象者の見直しが必要</p> <p>⑤感染拡大に伴うサービス利用自粛による収入減</p>		<p><b>【財源内訳】</b></p> <p>受託金 77,867,500</p> <p>事業収入 9,300</p> <p>繰入金収入 0</p> <p>助成金 597,000</p>
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①認知症による徘徊者を捜索したことを受け、認知症サポーター養成講座を団体だけでなく地域を絞って開催することを計画しており、声掛け訓練などの実施に繋げていく。</p> <p>②地域毎のデータを活用して、関係者と話し合う機会を設け、地域課題を地域づくりへ結びつけていく。</p> <p>③感染症対策に十分留意しながら取り組み、事業運営を柔軟に行っていく。</p> <p>④各事業の振り返りを行い、周知方法や運営の見直しを行う。</p> <p>⑤民生委員とケアマネジャーの交流会を開催し、事例検討会などに繋げていく。</p> <p>⑥更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。</p>		

◆活動実績(取り組み)

- ①緊急事態宣言下に相談件数は減少したが、年間を通して総合相談を実施した。
- ②感染症の拡大状況を考慮し訪問出来ない時期もあったが、利用者の同意がある際は訪問を実施した。
- ③虐待相談には、虐待防止マニュアルに基づき随時対応を行ってきた。松阪市版のエンディングノート「もめんノート」が作成され、それを用いた啓発講座を重点的に開催した。
- ④虐待事例について、関係機関との連携を図り対応を進めてきた。
- ⑤委託ケースの担当者会議に出席し、自立支援や重度化防止の視点から提案や助言を行い、新たな視点や気付きがあった。一般介護予防事業については、緊急事態宣言下では事業が実施できなかったが、解除後は日程の組み換えを行い開催に努めた。
- ⑥コロナ禍により介護予防教室や自主グループの開催が中止になったため、フレイル対策として介護予防体操などを掲載した広報などを作成し、周知に努めた。

(単位：円)

事業名	介護保険認定調査事業（松阪・嬉野・飯高）	事業シートNo 3－8
担当	在宅福祉サービス課	
部署	居宅介護支援事業所（松阪・嬉野・飯高）	事業活動収支 (前年度比)
【成果】		事業活動収入 12,792,810 53%
①コロナ禍において、松阪市と連絡調整を図りながら調査を進めることができた。		事業活動支出 11,241,655 60%
②調査員へ布マスクと消毒液を配布し、感染症予防に努めた。		差引 1,551,155
③調査員の声を聞き、松阪市にも意見を届けることで良い関係を築けた。		【拠点別内訳】
④感染症対策を行いながら、認定調査を遂行できた。		松阪支所 (前年度比)
【課題】		事業活動収入 9,739,960 53%
①認定期間の長期化に伴い、調査件数が減少した。また、コロナ禍による特例措置(1年延長)の影響がある。		事業活動支出 8,842,677 62%
②認定調査員の後任がないため、待遇の見直しなどにより調査員の確保に繋げる。		差引 897,283
③松阪市との連携強化		嬉野支所 (前年度比)
④事務員の活用による業務の効率化		事業活動収入 2,285,250 51%
⑤調査員への感染症対策用具の確保と配布		事業活動支出 1,694,270 49%
		差引 590,980
		飯高支所 (前年度比)
		事業活動収入 767,600 57%
		事業活動支出 704,708 73%
		差引 62,892
【次年度への改善】		
①新たな調査員の確保		
②感染症対策用具の確保と配布		
③松阪市との連携強化のため合同勉強会を行い、認定調査の質を標準化する。		

## (4) 障がい者福祉サービス

(単位：円)

事業名	移動支援サービス事業（松阪・飯高）	事業シートNo 3-9
担当	在宅福祉サービス課	
部署	居宅介護事業所（松阪・飯高）	
【成果】		事業活動収支 (前年度比)
①感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。		事業活動収入 319,200 105%
②空き情報の周知により、新規利用に繋げることができた。		事業活動支出 58,082 54%
③利用者の体調不良の際には、様子を見て中止し支援内容を変更した。		差引 261,118
④感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。		【拠点別内訳】
【課題】		松阪支所 (前年度比)
①ヘルパーにより支援の方法が異なる。		事業活動収入 6,400 10%
②在宅支援と連続した支援が多いため、人材確保が困難である。		事業活動支出 4,291 9%
③感染拡大に伴う利用自粛による収入減		差引 2,109
④利用者の減少により収入が減少した。		飯高支所 (前年度比)
		事業活動収入 312,800 131%
		事業活動支出 53,791 93%
		差引 259,009
【次年度への改善】		
①相談支援事業所への連携を図り、新規利用者獲得につなげる。		
②支援の質の向上に向けた、障がい特性の理解を深めるための研修参加		
③職員の人材確保		
④更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。		

(単位：円)

事業名	居宅介護事業（松阪・飯高） ※同行援護を含む	事業シートNo 3-10
担当	在宅福祉サービス課	
部署	居宅介護事業所（松阪・飯高）	
【成果】		事業活動収支 (前年度比)
①感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。		事業活動収入 24,823,680 92%
②季節により同行援護の利用時間が増となる時期があった。		事業活動支出 13,787,929 80%
③職員数が減となったが、シフト調整を行い継続してサービスを提供することができた。		差引 11,035,751
④感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。		【拠点別内訳】
		松阪支所 (前年度比)
		事業活動収入 18,307,600 86%
		事業活動支出 11,843,995 74%
		差引 6,463,605

<b>【課題】</b> ①感染拡大に伴う利用自粛による収入減 ②利用者の特性や多様なニーズへ対応が必要	飯高支所	(前年度比)
	事業活動収入	6,516,080 115%
	事業活動支出	1,943,934 151%
	差引	4,572,146
<b>【次年度への改善】</b> ①相談支援事業所への連携を図り、新規利用者獲得につなげる。 ②更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。 ③支援の質の向上に向けた、障がい特性の理解を深めるための研修参加 ④同行援護の資格取得 ⑤職員の人材確保		

(単位：円)

事業名	生活介護事業（嬉野）	事業シートNo 3-11
担当	在宅福祉サービス課	
部署	嬉野生活介護	事業活動収支 (前年度比)
<b>【成果】</b> ①利用者の利用日数や利用時間が長くなったことで、収益増に繋がった。 ②感染症対策として外出やレクリエーションなどに制限はあったが、室内レクリエーションを充実させて支援を行った。 ③事故の振り返りを行い、全職員で検証・再発防止について話し合い支援を見直した。 ④感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。 ⑤感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。	事業活動収入	48,671,950 113%
	事業活動支出	42,244,794 109%
	差引	6,427,156
<b>【課題】</b> ①医療的ケアを要する利用者新規受け入れと、看護師の負担や利用者の支援ペースの把握 ②利用者の増加に伴い、職員の介護負担増 ③感染拡大に伴う利用自粛による収入減		
<b>【次年度への改善】</b> ①職員の人材確保 ②職員のスキルアップ ③更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。 ④ミーティングなどにより利用者の情報共有を行い、支援方法を統一する。		

事業名	就労継続支援B型事業（松阪・嬉野・飯高） えみわーく、嬉野ゆうゆう、飯高じゃんぷ	事業シートNo 3-12	
担当 部署	在宅福祉サービス課 えみわーく、嬉野ゆうゆう、飯高じゃんぷ	事業活動収支 (前年度比)	
<p><b>【成果】</b></p> <p>①請負作業が安定して得られたため収益増となった。</p> <p>②特別支援学校との連携により、新規利用者増に繋がった。</p> <p>③新規請負先の開拓を行い2社増となった。</p> <p>④コロナ禍によるカフェの収入減を補うため、テイクアウトでの販売にて対応した。(えみわーく)</p> <p>⑤地元の八田地区との交流会として芋の会を開催した。(嬉野ゆうゆう)</p> <p>⑥特別支援学校の保護者を対象とした事業所相談会へ参加し、事業所のアピールを行った。</p> <p>⑦感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。</p> <p>⑧臨時的在宅支援の加算を算定し、収入の減少を抑えた。</p> <p>⑨感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①コロナ禍による地域行事の中止により、自主製品の販売が減少した。</p> <p>②感染症対策のため外出が中止になるなど余暇活動の制限があり、利用者のストレス増に繋がっている。</p> <p>③利用者の高齢化により、ADLの低下による利用回数の減少</p> <p>④嬉野ゆうゆうの施設賃貸借契約が令和4年度末で終了する。</p> <p>⑤季節限定の請負があり、年間を通じた安定した収益の確保には繋がっていない。</p> <p>⑥感染拡大に伴う利用自粛による収入減</p>		<p>事業活動収入 80,482,067 121%</p> <p>事業活動支出 73,806,766 112%</p> <hr/> <p>差引 6,675,301</p> <p><b>【拠点別内訳】</b></p> <p>松阪支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 14,179,983 206%</p> <p>事業活動支出 20,201,167 118%</p> <hr/> <p>差引 △ 6,021,184</p> <p>嬉野支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 31,398,291 114%</p> <p>事業活動支出 27,790,466 106%</p> <hr/> <p>差引 3,607,825</p> <p>飯高支所 (前年度比)</p> <p>事業活動収入 34,903,793 110%</p> <p>事業活動支出 25,815,133 114%</p> <hr/> <p>差引 9,088,660</p>	
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①自主製品の新たな販売経路の開拓</p> <p>②嬉野ゆうゆうの施設マネジメント・事業マネジメント</p> <p>③リサイクル事業と請負事業の安定化</p> <p>④カフェの新規メニュー開発などにより、顧客ニーズに応じていく。</p> <p>⑤挨拶、接客などの定期的な就労訓練活動</p> <p>⑥更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。</p>			

事業名	多機能型事業（三雲・飯南） サン・ウイングスみくも、夢風船	事業シートNo 3-13
担当 部署	在宅福祉サービス課 サン・ウイングスみくも、夢風船	事業活動収支 (前年度比)
【成果】		事業活動収入 104,590,435 108%
①オムツ交換が必要だった利用者に対し、環境に配慮して工夫をしたことで、自力でオムツ交換ができるようになった。		事業活動支出 88,517,023 103%
②他者とのコミュニケーションが、苦手な利用者が自ら職員へ話しかけたり、明るく会話したりできるようになった。		差引 16,073,412
③請負作業で自助具を使用することで1日の作業効率を上げることができた。		【拠点別内訳】
④1日の目標設定や正確性を上げる工夫をしたことで、多くの工程を利用者だけで取り組む事が可能となった。		三雲支所 (前年度比)
⑤感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。		事業活動収入 41,929,865 105%
⑥臨時的在宅支援の加算を算定し、収入の減少を抑えた。		事業活動支出 41,161,192 108%
⑦感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。		差引 768,673
【課題】		飯南支所 (前年度比)
①自閉症の方に対し、支援方法が統一されていないことがある。		事業活動収入 62,660,570 110%
②事業所を退所する利用者があり収入減になった。		事業活動支出 47,355,831 99%
③感染拡大に伴う利用自粛による収入減		差引 15,304,739
【次年度への改善】		
①利用希望が出ている土曜・日曜・祝日の開所による利用者の受け入れ		
②感染症対策を継続しながら行事などを工夫して行い、利用者満足に繋げていく。		
③職員の資質向上(自閉症への理解)		
④個別ニーズに対応するチーム作りを行うため、引継ぎ業務を丁寧に行う。		
⑤継続した利用に繋がれるように、利用者を含め家族の理解や協力を得られるよう会議の開催		
⑥更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。		

事業名	日中一時支援事業 (嬉野・三雲・飯南・飯高)	事業シートNo 3-14
担当 部署	在宅福祉サービス課 嬉野ゆうゆう、サン・ウイングスみくも、三雲通所、 夢風船、飯高じゃんぷ	事業活動収支 (前年度比)
【成果】		事業活動収入 8,519,035 104%
①就労継続支援B型事業所のサービス終了後から17時までの利用により、家族の介護負担軽減に繋がった。		事業活動支出 1,049,124 171%
		差引 7,469,911



<p>②就労継続支援B型の利用開始に至るまでの体験として利用することで、支援がスムーズに行えた。</p> <p>③家族の介護休暇を目的として急な利用にも対応できた。</p> <p>④コロナ禍のため外出を控え、事業所内にてイベント(ゲーム大会や季節の行事)を行い楽しみが持てるようにした。</p> <p>⑤365日の開所により社協以外の利用者からの利用を得た。</p> <p>⑥感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。</p> <p>⑦感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①新規利用者の支援について、限られた職員で対応しているため引継ぎができていない。</p> <p>②重度の利用者への支援について、職員負担が増大している。</p> <p>③人員不足により土曜・日曜・祝日のニーズに対応できない。</p> <p>④感染拡大に伴う利用自粛による収入減</p>	<p><b>【拠点別内訳】</b></p> <p>嬉野支所 (前年度比)</p> <table border="1"> <tr> <td>事業活動収入</td> <td>144,614</td> <td>76%</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出</td> <td>89,324</td> <td>910%</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>55,290</td> <td></td> </tr> </table> <p>三雲支所 (前年度比)</p> <table border="1"> <tr> <td>事業活動収入</td> <td>699,690</td> <td>87%</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出</td> <td>16,330</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>683,360</td> <td></td> </tr> </table> <p>飯南支所 (前年度比)</p> <table border="1"> <tr> <td>事業活動収入</td> <td>6,428,630</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出</td> <td>533,490</td> <td>106%</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>5,895,140</td> <td></td> </tr> </table> <p>飯高支所 (前年度比)</p> <table border="1"> <tr> <td>事業活動収入</td> <td>1,246,101</td> <td>312%</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出</td> <td>409,980</td> <td>496%</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>836,121</td> <td></td> </tr> </table>	事業活動収入	144,614	76%	事業活動支出	89,324	910%	差引	55,290		事業活動収入	699,690	87%	事業活動支出	16,330	100%	差引	683,360		事業活動収入	6,428,630	95%	事業活動支出	533,490	106%	差引	5,895,140		事業活動収入	1,246,101	312%	事業活動支出	409,980	496%	差引	836,121	
	事業活動収入	144,614	76%																																		
	事業活動支出	89,324	910%																																		
	差引	55,290																																			
	事業活動収入	699,690	87%																																		
	事業活動支出	16,330	100%																																		
	差引	683,360																																			
事業活動収入	6,428,630	95%																																			
事業活動支出	533,490	106%																																			
差引	5,895,140																																				
事業活動収入	1,246,101	312%																																			
事業活動支出	409,980	496%																																			
差引	836,121																																				

**【次年度への改善】**

- ①日中一時の算定方法が令和3年10月から変更されるため、利用者ニーズと算定について理解し、収益について検討を行う。
- ②土曜・日曜・祝日の職員体制と人員確保
- ③利用者の支援方法について職員間で情報を共有し、支援方法の統一化を図る
- ④更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。

(単位：円)

事業名	外部サービス利用型共同生活援助事業（三雲・飯高） みくもホーム、はーとりあ	事業シートNo 3-15																		
担当	在宅福祉サービス課																			
部署	みくもホーム、はーとりあ																			
【成果】	<p>①食事代を値上げをして食事面の充実を図った。</p> <p>②満床のため収入は安定していた。</p> <p>③感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。</p> <p>④感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p>	<p>事業活動収支 (前年度比)</p> <table border="1"> <tr> <td>事業活動収入</td> <td>21,523,016</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出</td> <td>23,137,250</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>△ 1,614,234</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【拠点別内訳】</b></p> <p>三雲支所 (前年度比)</p> <table border="1"> <tr> <td>事業活動収入</td> <td>5,989,420</td> <td>84%</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出</td> <td>8,793,993</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td>△ 2,804,573</td> <td></td> </tr> </table>	事業活動収入	21,523,016	95%	事業活動支出	23,137,250	95%	差引	△ 1,614,234		事業活動収入	5,989,420	84%	事業活動支出	8,793,993	91%	差引	△ 2,804,573	
事業活動収入	21,523,016	95%																		
事業活動支出	23,137,250	95%																		
差引	△ 1,614,234																			
事業活動収入	5,989,420	84%																		
事業活動支出	8,793,993	91%																		
差引	△ 2,804,573																			

<p><b>【課題】</b></p> <p>①概ね1年間の空床が続いたことによる収入の減(三雲)</p> <p>②宿直者の減</p> <p>③入居者の高齢化に伴う健康管理と緊急対応</p> <p>④他施設に転居予定の入居者がいるが、コロナ禍のため進展していない。</p> <p>⑤感染症対策で外出や行事の中止により、入居者のストレスが増えている。</p> <p>⑥入所施設のため感染者が出た場合、クラスターのリスクが高い。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">飯高支所</td> <td style="text-align: right;">(前年度比)</td> </tr> <tr> <td>事業活動収入</td> <td style="text-align: right;">15,533,596 100%</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出</td> <td style="text-align: right;">14,343,257 98%</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">1,190,339</td> </tr> </table>	飯高支所	(前年度比)	事業活動収入	15,533,596 100%	事業活動支出	14,343,257 98%	差引	1,190,339
飯高支所	(前年度比)								
事業活動収入	15,533,596 100%								
事業活動支出	14,343,257 98%								
差引	1,190,339								
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①職員資質向上の研修(個別支援の理解・アセスメント力向上・虐待防止研修)</p> <p>②宿直者・世話人の業務内容の見直し及び職員確保</p> <p>③収益改善のために入居定員の見直し</p> <p>④入居者のストレス軽減のための対応</p> <p>⑤更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。</p>									

(単位：円)

事業名	短期入所事業 (三雲) みくもホーム	事業シートNo 3-16							
担当	在宅福祉サービス課								
部署	みくもホーム								
<p><b>【成果】</b></p> <p>①宿直者の職員募集を行い2名採用に至った。</p> <p>②食事代を値上げをして食事面の充実を図った。</p> <p>③令和2年10月より短期入所の利用日を拡大した。</p> <p>④感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。</p> <p>⑤感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">事業活動収支</td> <td style="text-align: right;">(前年度比)</td> </tr> <tr> <td>事業活動収入</td> <td style="text-align: right;">4,133,600 110%</td> </tr> <tr> <td>事業活動支出</td> <td style="text-align: right;">4,930,405 131%</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引</td> <td style="border-top: 1px solid black; text-align: right;">△ 796,805</td> </tr> </table>	事業活動収支	(前年度比)	事業活動収入	4,133,600 110%	事業活動支出	4,930,405 131%	差引	△ 796,805
事業活動収支	(前年度比)								
事業活動収入	4,133,600 110%								
事業活動支出	4,930,405 131%								
差引	△ 796,805								
<p><b>【課題】</b></p> <p>①稼働率の低下による収入減</p> <p>②宿直者の減</p> <p>③職員の障害特性に対する理解不足</p> <p>④感染拡大に伴う利用自粛による収入減</p>									
<p><b>【次年度への改善】</b></p> <p>①新規利用者の確保</p> <p>②職員資質向上の研修(個別支援の理解・アセスメント力向上・虐待防止研修)</p> <p>③生活支援員及び宿直者の確保</p> <p>④更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。</p>									

事業名	障がい者特定相談事業・障がい児相談事業 福らむ	事業シートNo 3-17
担当 部署	在宅福祉サービス課 福らむ	事業活動収支 (前年度比)
【成果】		事業活動収入 12,515,030 121%
①感染症対策として利用者同意のもと訪問を控え、電話での対応を主とした。移動時間の削減により毎月の書類作成がスムーズに行えた。		事業活動支出 9,261,580 101%
②目標としていた新規契約は15名獲得できた。		差引 3,253,450
③感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。		
④感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。		
【課題】		
①必要な資料作成に時間を要するために加算取得に至っていない。		
②コロナ禍のため利用者と事業所で対面できないケースが多い。		
③感染拡大に伴うサービス利用自粛による収入減		
【次年度への改善】		
①報酬改定により加算要件が緩和され事務負担が軽減されたため、モニタリングや連携加算などを取得できるようにする。		
②感染症対策のため訪問が難しい状況であるが、電話やzoomなどを利用しご本人や関係機関との連携をこれまで以上に強化していく。		
③更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。		

## (5) その他の福祉サービス

事業名	福祉有償運送事業（松阪・飯高）	事業シートNo 3-18
担当 部署	在宅福祉サービス課 訪問介護事業所（松阪・飯高）	事業活動収支 (前年度比)
【成果】		事業活動収入 423,200 34%
①継続利用者での支援になっている。（松阪）		事業活動支出 3,460,764 3321%
②透析利用者を中心に支援を行っており、新規1名も透析利用の方であり、他は従来の利用者である。		差引 △ 3,037,564
③感染症対策の徹底により、利用者及び職員に感染症が発生しなかった。		【拠点別内訳】
④感染症包括化支援金の活用により、環境整備ができた。		松阪支所 (前年度比)
【課題】		事業活動収入 17,600 70%
①他法人の撤退により山間部での通院手段確保が課題となっているが、事業所のみでの対応だけでは解決できない。		事業活動支出 1,280 28%
②訪問介護と有償運送のシフト調整が必要であり、新規利用者の受入が困難		差引 16,320
		飯高支所 (前年度比)
		事業活動収入 405,600 33%
		事業活動支出 3,459,484 3474%
		差引 △ 3,053,884

- |                    |  |
|--------------------|--|
| ③稼働率の低下による収入減      |  |
| ④感染拡大に伴う利用自粛による収入減 |  |

【次年度への改善】

- ①通院乗降中の急変に対応できるように、手順の再確認
- ②飯高地区の交通弱者のモデル事業が開始されるため、飯高支所の有償運送のあり方について市と協議を行う。
- ③更なる感染症対策により、安心して利用できる環境を整備する。

【用語解説】

- ※1 コミュニティソーシャルワーカー(CSW)：地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する個別支援と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化などの地域支援を専門的な技術を用いて統合的に支援する専門職のこと。
- ※2 相談支援包括化推進員：個別の福祉課題、なかでも複雑な課題を抱えた世帯の問題や「制度のはざま」といわれるような問題に対して、「丸ごと」受け止めることが出来るように、専門職同士の連携や調整の中心となる専門職のこと。
- ※3 BCP(business continuity plan)：企業が自然災害、大火災などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法や手段などを取り決めておく事業継続計画のこと。
- ※4 福祉委員：身近な地域の中で、住民の生活を見守り、相談対応にて地域の困りごとを早期に発見し、民生委員児童委員・自治会・社協などの関係機関や専門職と連携しながら解決に向けて取り組む、地域福祉の推進に協力していただける方のこと。

第5章 資料

1 法人運営部門

(1) 法人の運営

①理事会・評議員会・監事監査

項目 (出席者)	期日	議題など
第1回監事監査 (監事2名)	5月25日	第1号議案 令和元年度事業報告について 第2号議案 令和元年度収支決算について
第1回理事会 (理事9名) (監事2名)	6月5日	第1号議案 令和元年度事業報告について 第2号議案 令和元年度収支決算について 第3号議案 評議員選任候補者の推薦について 第4号議案 第1回評議員選任・解任委員会の開催について 第5号議案 役員選任候補者の推薦について 第6号議案 定時評議員会の開催について 第7号議案 第Ⅲ期経営計画の報告について 報告事項 地域福祉(活動)計画令和元年度評価報告について
定時評議員会 (評議員15名) (理事2名) (監事2名)	6月19日	第1号議案 令和元年度事業報告の承認について 第2号議案 令和元年度収支決算の承認について 第3号議案 理事1名の選任について 報告事項 第3期松阪市地域福祉(活動)計画 令和元年度分評価報告について
第2回監事監査 (監事2名)	11月19日	第1号議案 令和2年度中間決算について
第2回理事会 (理事9名) (監事2名)	11月30日	第1号議案 令和2年度第1次収支補正予算について 第2号議案 令和2年度中間事業報告について 第3号議案 令和2年度中間収支決算について 第4号議案 経理規程の一部改正について 第5号議案 経理規程施行細則の一部改正について 第6号議案 資金運用規程の制定について 第7号議案 令和2年度第2回評議員会の開催について 報告事項 会長及び業務執行理事の職務執行状況報告について 協議事項 グループホームいいたかの施設運営について
第2回評議員会 (評議員11名) (理事2名) (監事2名)	12月9日	第1号議案 令和2年度第1次収支補正予算の承認について 第2号議案 令和2年度中間事業報告の承認について 第3号議案 令和2年度中間収支決算の承認について 報告事項 グループホームいいたかの施設運営について

項目 (出席者)	期日	
第3回理事会 (理事8名) (監事1名)	1月13日	第1号議案 職員就業規則の一部改正について 第2号議案 職員給与規程の一部改正について 第3号議案 契約職員就業規則の一部改正について 第4号議案 非常勤職員就業規則の一部改正について 第5号議案 登録ヘルパーの雇用などに関する就業規則の一部改正について 第6号議案 入札指名業者の選定について 協議事項 グループホームいいたかの施設運営について
第4回理事会 (理事9名) (監事1名)	2月19日	協議事項 グループホームいいたかの施設運営について
第5回理事会 (理事8名) (監事2名)	2月26日	第1号議案 令和2年度第2次補正収支予算について 第2号議案 令和3年度事業計画について 第3号議案 令和3年度収支予算について 第4号議案 令和2年度第3回評議員会の開催について 報告事項 会長及び常務理事の職務執行状況報告について
第3回評議員会 (評議員15名) (理事2名)	3月8日	第1号議案 令和2年度第2次補正収支予算の承認について 第2号議案 令和3年度事業計画の承認について 第3号議案 令和3年度収支予算の承認について 報告事項 グループホームいいたかの施設運営について
第6回理事会 (理事8名) (監事2名)	3月30日	第1号議案 定款の一部変更について 第2号議案 定款施行細則の一部改正について 第3号議案 評議員選任規程の一部改正について 第4号議案 役員選任規程の一部改正について 第5号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について 第6号議案 役員などの報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 第7号議案 委員などの報酬及び費用弁償に関する規程の制定について 第8号議案 監事監査規程の制定について 第9号議案 決裁規程の一部改正について 第10号議案 文書管理規程の一部改正について 第11号議案 日常生活自立支援事業利用料助成規程の制定について 第12号議案 各障がい事業所・介護事業所運営規程の一部改正について 第13号議案 令和2年度第4回評議員会の開催について

②評議員選任・解任委員会

期日	出席者	議題
6月12日	評議員選任・解任委員5名 理事2名	第1号議案 評議員2名の選任について

(2) 福祉関係施設の運営管理

①各施設の自主事業

施設名	開催日	行事名	参加者数
ハートフルみくも 保健福祉センター	4月1日～3月31日	写真展	—
	中止(コロナ感染防止)	人形劇公演会	—
	中止(コロナ感染防止)	ハートフルみくもカラオケ交流会	—
ハートフルみくも スポーツ文化センター	中止(コロナ感染防止)	ハンドマッサージ	—
	中止(コロナ感染防止)	卓球交流会	—
	中止(コロナ感染防止)	健康講座	—
	中止(コロナ感染防止)	エアロビクス	—
	中止(コロナ感染防止)	迎春手芸講座	—
	中止(コロナ感染防止)	健康ウォーキング	—
飯南ふれあいセンター	7月20日	避難訓練	86名
飯南高齢者生活福祉センター	3月17日	避難訓練	85名
飯高高齢者生活福祉センター	12月14日	避難訓練	48名
	3月17日	避難訓練	37名

②貸館利用状況

施設名		平成30年度	令和元年度	令和2年度
松阪支所	貸館件数	—	37件	375件
	利用者数	—	690名	4225名
嬉野社会福祉センター	貸館件数	1,272件	1,136件	803件
	利用者数	20,310名	18,400名	8,740名
ハートフルみくも 保健福祉センター	貸館件数	695件	648件	250件
	利用者数	22,278名	17,771名	6,113名
ハートフルみくも スポーツ文化センター	貸館件数	5,286件	4,127件	2,744件
	利用者数	60,945名	41,268名	27,291名
飯南ふれあいセンター	貸館件数	408件	348件	489件
	利用者数	9,973名	9,271名	9000名
飯南高齢者生活福祉センター	貸館件数	64件	47件	182件
	利用者数	831名	254名	589名
飯高高齢者生活福祉センター	貸館件数	98件	76件	148件
	利用者数	1,114名	851名	1,046名

③施設入居の状況

施設名		平成30年度	令和元年度	令和2年度
飯南高齢者生活福祉センター	実入居者数	48名	44名	37名
	延べ入居日数	1,463日	1,331日	1117名
飯高高齢者生活福祉センター	実入居者数	50名	80名	82名
	延べ入居日数	1,438日	2,405日	2,424日

## 2 福祉のまちづくり部門

### ボランティア派遣実績

活動分野	種別	松阪		嬉野		三雲		飯南		飯高		計	
		依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数	依頼 件数	派遣 人数
		(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)	(件)	(人)
障害者関係	団体支援	3	9									3	9
	施設支援					5	10					5	10
	個別支援	37	150									37	150
	行事支援											0	0
高齢者関係	食事サービス			34	170	4	20	7	107	10	73	55	370
	安否確認	12	60	18	90	4	17	7	104			41	271
	施設支援	2	2									2	2
	行事支援	5	6									5	6
	居場所づくり	12	64					105	923			117	987
	その他	1	1	16	16			7	38			24	55
児童関係	団体支援											0	0
	居場所づくり											0	0
	託児											0	0
	行事支援											0	0
	見守り活動	18	72			201	1,904					219	1,976
学校	福祉体験支援	2	5	1	4							3	9
	その他	4	8									4	8
その他施設	環境整備											0	0
	その他	29	103					11	64			40	167
その他	使用済切手整理	19	49									19	49
	リサイクル活動	13	65			17	71					30	136
	地域支援	7	21			2	7					9	28
	啓発活動			1	14	2	9					3	23
	環境整備	2	30			2	80					4	110
計		166	645	70	294	237	2,118	137	1,236	10	73	620	4,366



地域福祉活動ステップアップ支援事業

月日 (時期)	実施内容	ワーカー(社協)の 取組み・動き	ワーカーのねらいや 留意事項など
5月27日	社協内打合せ	アドバイザーへの依頼内容	社協内での目的やねらいの共有
6月12日	アドバイザーとの打合せ	皇学館大学 大井准教授と事業展開についての打合せ	アドバイザーとの事業目的や研修目的などの打合せ、民生委員の活動内容などの確認
7月15日	社協内会議にて研修材料の研修	「助け合い体験ゲーム」の 実践	研修の参考材料
8月7日	アドバイザー、関係機関との打合せ	地区福社会や包括支援センター、社協などと研修をどのように行うか検討	研修内容と今後の展開の共有
8月28日	飯南地区民児協役員会にて協議	研修会の開催是非の確認	感染拡大防止策ができるかどうかの判断(地域内で感染拡大の可能性があったため、9月開催予定であったが中止とする)
10月21日	飯高森地区にて民生委員などとの懇談会	森地区民生委員・森診療所の医師と地域内での課題の整理、課題に対する医師としての考えを聞く。	他地区の状況を確認することで、本事業を展開するうえで参考にする。
10月22日	民児協定例会にて今後の事業展開の相談	懇親会形式で行うと感染拡大のおそれがあるため、民生委員活動に対するアンケートを行うかどうか相談を行う。	アンケートを行うことで、どのような仕組みを構築すべきか検討ができる。
11月21日	包括見守り体制の会議における打合せ	以前より包括主催で行っていた見守りに関する体制会議においてマニュアルの見直しについての打合せ	ライフラインを担う事業者と地域の関係機関、地域住民とどのように繋いでいくか。
12月1日	飯高森地区にて民生委員、森地区住民協議会などとの打合せ	10月21日の打合せを受けて医師の地域課題に対する考えを聞き、地域としてどのように動くか検討を行い、社協として地域課題に対してどのように動くことができるか話をする。	これから地域がどのように動いていくかを見極めて、社協としていかに関わっていく必要があるか。

月日 (時期)	実施内容	ワーカー(社協)の 取組み・動き	ワーカーのねらいや 留意事項など
12月4日	包括見守り体制に関する会議	以前より包括主催で行っていた見守りに関する体制会議においてマニュアルの見直しについて協議及び出席者の現状報告など意見交換(飯南地区全体)	ライフラインを担う事業者と地域の関係機関、地域住民とどのように繋いでいくか。
1月29日	アドバイザーとアンケート項目の検討に関する打合せ	効果的なアンケートを行うために大井先生にアドバイスを頂く。	民生委員の本音を汲み取るための材料として効果的なものになるように作成を行う。
2月17日	アドバイザーとの打合せ	今年度の振り返りと来年度に向けての協議	地域にどのような仕組みが有効であるか、アンケートなどを分析し事業を進める。
2月19日	民児協定例会にてアンケートを配布	民児協定例会内でアンケート協力の依頼	民生委員の活動に関してどのような仕組みが負担のない活動になるのか

### 3 在宅福祉サービス部門

#### 1 高齢者福祉サービス

事業	項目	松阪	飯高
訪問介護事業	延べ利用者数(人)	1,123	458
	延べ利用回数(回)	9,453	6,940

事業	項目	嬉野	三雲	飯南	飯高
通所介護事業	延べ利用者数(人)	769	518	688	765
	延べ利用回数(回)	8,194	7,002	7,866	9,542

事業	項目	松阪	嬉野	飯南
総合事業 福っきー体操くらぶ	延べ利用者数(人)	571	210	214
	延べ利用回数(回)	2,020	843	685

事業	項目	飯高
認知症対応型 共同生活介護事業	延べ利用者数(人)	207
	延べ利用回数(回)	6,188

事業	項目	嬉野	飯高
外出支援通所サービス 運営事業	延べ利用者数(人)	1,509	1,427

事業	項目	松阪	嬉野	飯高
居宅介護支援事業	延べ利用者数(人)	3,092	3,926	2,207

事業	項目	松阪	嬉野	飯高
介護保険認定調査事業	調査件数(件)	2,523	592	199

#### 2 障がい者福祉サービス

事業	項目	松阪	飯高
移動支援サービス事業	延べ利用者数(人)	4	24
	延べ利用回数(回)	6	153

事業	項目	松阪	飯高
居宅介護事業	延べ利用者数(人)	252	124
	延べ利用回数(回)	4,440	1,363

事業	項目	嬉野
生活介護事業	延べ利用者数(人)	196
	延べ利用回数(回)	2,849

事業	項目	松阪	嬉野	飯高
就労継続支援B型事業	延べ利用者数(人)	97	228	206
	延べ利用回数(回)	1,357	3,861	3,709

事業	項目	三雲	飯南
多機能型事業	延べ利用者数(人)	286	410
	延べ利用回数(回)	5,110	6,801

事業	項目	嬉野	三雲	飯南	飯高
日中一時支援事業	延べ利用者数(人)	14	26	215	31
	延べ利用回数(回)	73	269	1,267	189

事業	項目	松阪	飯高
福祉有償運送事業	利用者数(人)	20	50
	延べ利用者数(人)	45	316

事業	項目	三雲	飯高
外部サービス利用型 共同生活援助事業	延べ利用者数(人)	37	365
	延べ利用回数(回)	1,087	2,362

事業	項目	三雲
短期入所事業	延べ利用者数(人)	39
	利用日数(日)	433

事業	科目	松阪
障がい者特定相談事業・ 障がい児相談事業	対応件数(件)	736

### 3 その他の福祉サービス

事業	項目	松阪	飯高
福祉有償運送事業	利用者数(人)	20	50
	延べ利用者数(人)	45	316